

群馬県議会時報

第72巻

令和3年第4回臨時会・第5回臨時会・第3回前期定例会



GACHi高校生×県議会議員

群馬県議会事務局

— 目 次 —

議会の動き

議 会 日 誌	1
第4回臨時会	4
議長開会のあいさつ	4
知事の提案説明	5
質 疑	7
委員会・委員長報告	9
議案審議状況	12
議決事件概要及び結果	13
委員会委員名簿	15
議席一覧表	16
議長閉会のあいさつ	17
第5回臨時会	18
議長開会のあいさつ	18
知事の提案説明	19
質 疑	21
委員会・委員長報告	23
議案審議状況	25
議決事件概要及び結果	26
委員会委員名簿	28
議席一覧表	29
議長閉会のあいさつ	30
第3回前期定例会	31
議長開会のあいさつ	31
知事の提案説明	33
質疑・一般質問	36
委員会・委員長報告	42
議案審議状況	54
議決事件概要及び結果	55
可決された委員会提出議案	66
請願の議決結果	68
請願の委員会別審査状況	69
委員会委員名簿	70
議席一覧表	71

委員会活動

県 内 調 査 (オンライン調査)	72
決算特別委員会分科会現地調査	77
本会議場の改修工事	95
ぐんまシチズンシップ・アカデミー	96
産経土木・総務企画・健康福祉常任委員会連合審査会	97

〈表紙写真〉「^ガチ^{かける}高校生 × 県議会議員」

令和3年11月4日、県立桐生高等学校において、「^ガチ^{かける}高校生 × 県議会議員～政治を知らなきゃソンをする！～」を開催し、議員が政治や議会の仕組みを説明するとともに、参加した生徒からのさまざまな質問に答えました。

令和3年度は、17校2,500人余りの高校生が参加する予定です。

議 会 の 動 き

議 会 日 誌

月 日	曜	行 事
8月5日	木	議会運営委員会
6日	金	第4回臨時会本会議（開会・提案説明・質疑・委員会付託・議決・閉会） 常任委員会（総務企画）（健康福祉）（産経土木）
19日	木	議会運営委員会
20日	金	第5回臨時会本会議（開会・提案説明・質疑・委員会付託・議決・閉会） 常任委員会（総務企画）（産経土木）
25日	水	常任委員会（総務企画）
26日	木	常任委員会県内調査（オンライン調査）（環境農林）（産経土木） 常任委員会（環境農林）
27日	金	常任委員会（健康福祉）（文教警察）
9月14日	火	議会運営委員会
21日	火	議会運営委員会 第3回前期定例会本会議（開会・提案説明・質疑・委員会付託・委員長報告・議決） 常任委員会（総務企画）（健康福祉）（産経土木）（文教警察）
22日	水	議案調査
23日	ⓧ	
24日	金	議案調査
25日	ⓧ	
26日	ⓧ	
27日	月	本 会 議（質疑及び一般質問）
28日	火	本 会 議（質疑及び一般質問）
29日	水	議案調査
30日	木	議会運営委員会 本 会 議（提案説明・議決・質疑及び一般質問）
10月1日	金	議案調査

月 日	曜	行 事
10月 2日	⊕	
3日	Ⓜ	
4日	月	常任委員会（総務企画）（健康福祉）（環境農林）（産経土木） （文教警察）
5日	火	”
6日	水	議会運営委員会 本 会 議（議員の辞職） 産経土木・総務企画・健康福祉常任委員会連合審査会 常任委員会（総務企画）（産経土木）
7日	木	特別委員会（新型コロナ）（DX）（脱炭素社会）（地方創生）
8日	金	委員会予備日
9日	⊕	
10日	Ⓜ	
11日	月	調 整 日 議会運営委員会 常任委員会（総務企画）（産経土木）
12日	火	本 会 議（委員長報告・議決・決算提案説明・決算特別委員 会設置）
13日	水	
14日	木	
15日	金	決算特別委員会分科会現地調査（総務企画）
16日	⊕	
17日	Ⓜ	
18日	月	決算特別委員会分科会（総務企画）（健康福祉）（環境農林） 決算特別委員会分科会現地調査（産経土木）（文教警察）
19日	火	決算特別委員会分科会（総務企画）（産経土木）（文教警察） 決算特別委員会分科会現地調査（健康福祉）（環境農林）
20日	水	
21日	木	調 整 日
22日	金	
23日	⊕	
24日	Ⓜ	

月 日	曜	行 事
10月25日	月	
26日	火	決算特別委員会（総括質疑・採決）
27日	水	
28日	木	
29日	金	調 整 日 議会運営委員会
30日	⊕	
31日	⊕	
11月1日	月	本 会 議（決算委員長報告・議決）

第4回臨時会

議長開会のあいさつ

議 長

井 田 泉



開会に当たり、ごあいさつを申し上げます。

本日ここに、第4回臨時会が招集されましたところ、議員各位には御参集賜り、御礼を申し上げます。

さて、今議会では、本県における新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け、飲食店等に対する営業時間短縮要請の実施に伴う協力金の支給や、県民へのワクチン接種のさらなる加速化を図るための「県営ワクチン接種センター」の接種能力の増強等に要する補正予算案を御審議いただくものであります。

議員各位におかれましては、慎重審議及び適切な議会運営に努められますことを御期待申し上げ、開会のあいさつといたします。

知事の提案説明



知 事

山 本 一 太

今回、新型コロナ対応に係る補正予算案を早急に御審議いただくため、臨時県議会を招集させていただきました。審議日程の決定に際し、議員の皆さまに御配慮いただきましたことを心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染状況ですが、首都圏をはじめ全国的に感染が拡大しています。本県においても、7月下旬以降、若い世代を中心に新規感染者数が急激に増加し、過去に経験したことのないペースで感染が急激に拡大しています。これは、感染力が強いデルタ株への置き換わりが進んでいることなどが原因と見られます。

こうした状況を踏まえて、全県の警戒度を8月4日から「4」に引き上げ、県民の皆さまへの不要不急の外出自粛を要請するとともに、8月7日から飲食店等への営業時間の短縮を要請することといたしました。

加えて、新規感染者数が100人を超える日が続き、感染のピークが見通せない状況であったことなどを考慮し、さらなる対策として本県へのまん延防止等重点措置の適用について国に要請し、昨日、8月8日から31日までの適用が決定されました。

こうした対応は、当然のことながら県民生活や経済活動に多大な御不便、御負担をおかけすることになります。知事としては苦渋の決断です。しかし、これ以上の感染拡大を防ぐためにも、県民の皆さま、事業者の皆さまには、是非県の方針に対して御理解、御協力をいただきますようお願い申し上げます。

また、ワクチン接種についてですが、現在、高齢者の方に対する接種については、1回目の接種が終わった方の割合が約9割、2回目の接種が終わった方が約8割となっています。「7月末までに希望する高齢者全ての接種を完了する」という目標は、おおむね達成できたと考えています。

県全体でも、1回目の接種率が5割に近づいており、全国的に見ても、群馬県は順調に進んでいると考えています。35市町村をはじめ、関係の皆さまのこれまでの御尽力に改めて感謝を申し上げます。

ワクチン接種の効果は100%ではありませんが、最近の新規感染者の状況を見ると、発症や重症化の予防に効力があることは明らかです。

一方で、ワクチン接種の進捗には世代により大きな差があります。30代以下の1回目接種率は20%以下であり、若い世代の接種の加速化が感染拡大防止には不可欠です。

今後も、県としてはワクチン接種のスピードを落とさないよう、市町村、関係機関としっかり連携して、加速化に取り組んでいきたいと考えています。

県民の皆さま、特にワクチン接種が済んでいない若い世代の方々には、是非積極的に接種を受けていただきますようお願い申し上げます。

それでは、本日提出いたしました議案について御説明申し上げます。

提出議案は、一般会計補正予算1件です。補正予算額は210億5,199万円であり、現計予算額と合算いたしますと、補正後の予算額は8,335億7,216万円となります。

その内容ですが、飲食店等に対して営業時間の短縮等を要請するに当たり、御協力いただいた場合の協力金を支給します。

また、営業時間短縮や外出自粛等の影響を受ける県内事業者に対する支援金を支給します。

次に、県営ワクチン接種センターについては、市町村によるワクチン接種の補完と県全体の接種の加速化を図るため、当初の計画よりも拡充した体制で運営してきました。そこで、今後の運営に必要な経費を追加するとともに、さらなる加速化に向けた接種能力の増強を行います。

また、若年層の感染が拡大傾向にあることを踏まえて、正しい情報提供とインセンティブの付与により、若年層のワクチン接種を促進するための取組を進めてまいります。

以上、提出議案の大要について御説明申し上げます。

本件は、早期に執行する必要があることから、早急に御議決くださいますようお願い申し上げます。

質 疑

■ 8月6日 自由民主党 泉沢信哉 議員
リベラル群馬 加賀谷富士子 議員
令 明 井田泰彦 議員
公 明 党 薬丸 潔 議員
日本共産党 酒井宏明 議員

8月6日



自由民主党
泉沢 信哉 議員（館林市）

- 1 感染急拡大への対応について
- 2 県内事業者への経済支援について
- 3 新型コロナウイルス感染拡大防止策とワクチン接種について



リベラル群馬
加賀谷富士子 議員（伊勢崎市）

- 1 予診・接種人員の現状と見通しについて伺いたい。
- 2 ワクチン接種に係る県庁職員の時間外勤務について伺いたい。



- 1 若年層へのワクチン接種の推進について
- 2 県営ワクチン接種センターの接種能力の増強について

令明

井田 泰彦 議員（桐生市）



- 1 県営ワクチン接種センターの今後について
- 2 若年層へのワクチン接種の推進について

公明党

薬丸 潔 議員（太田市）



- 1 ワクチン接種の加速化とPCR検査の強化について

日本共産党

酒井 宏明 議員（前橋市）

委員会・委員長報告

8月6日

健康福祉常任委員会



委員長 泉沢信哉

健康福祉常任委員会に付託されました第144号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」の審査経過と結果について、御報告申し上げます。

本議案は、新型コロナウイルス感染症対策に係る県営ワクチン接種センターの運営費及び若者向けの接種促進のための支援を実施しようとするものであります。

審査では、はじめに県営ワクチン接種センターにおける接種能力の増強に関して、ワクチンの確保状

況について質疑されました。

次に、市町村に対するワクチン供給が減少していることに関して、適正な供給量の確保を国へ求めるよう要望されました。

次に、若年層へのワクチン接種の促進策に関して、インセンティブを導入することの考え方、特典の選定等について質疑されました。

次に、県内におけるワクチン接種によるものと疑われる死亡例に関して、ワクチン接種との因果関係や情報の公表方法について質疑されました。

次に、ワクチン接種に係る情報発信に関して、正しい情報を発信し、若年層への不安を解消するよう要望されました。

最後に、変異株の拡大に関して、変異株の状況、感染防止対策、ワクチンの有効性について質疑されました。

以上の点を踏まえ採決した結果、本委員会に付託されました第144号議案は、賛成多数をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、申し上げます委員長報告といたします。

産経土木常任委員会



委員長 大和 勲

産経土木常任委員会に付託されました第144号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」の審査経過と結果について、御報告申し上げます。

本委員会では、まず、営業時間短縮要請協力金について、これまで行ってきた協力金の支給状況や今回要請分に係る申請受付の開始時期、支給までに要する期間等について質疑されるとともに、事業者に対して、できる限り早期に協力金が支給されるよう

強く要望されました。

次に、今回の要請期間が終了した後、どのように飲食店や観光事業者等の県内事業者を支援し県内経済を立て直していくのか、その対応方針について質疑されました。

また、感染症対策事業継続支援金について、5月・6月分の支援金の申請状況等について質疑されるとともに、事業者に対し、しっかりと制度の周知を図るよう要望されました。

また、まん延防止等重点措置による対象地域の指定の考え方や、検討の経緯等について質疑されました。

また、これまで要請が繰り返され、厳しい状況が続いている県内事業者に対し、県によるさらなる支援策や上乗せ支援等の対応について質疑されました。

以上の点を踏まえ採決した結果、本委員会に付託されました第144号議案は、全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、申し上げます委員長報告といたします。

総務企画常任委員会



委員長 穂積昌信

総務企画常任委員会に付託されました議案の審査経過と結果について、御報告申し上げます。

本委員会では、第144号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」の歳入に関して、「ワクチン接種のさらなる加速化」に係る受託事業収入の内容について質されました。

また、受託事業収入の算定に当たり、市町村のワクチン接種の状況が考慮されているのか質されました。

以上の点を踏まえ採決した結果、本委員会に付託されました第144号議案は、全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、申し上げまして委員長報告といたします。

議 案 審 議 状 況

第4回臨時会において審議された議案は、知事提出議案の1件でした。

		8月6日提出	提出計	8月6日可決	可決計	否決計
知事提出	予算案	1	1	1	1	
	条例案					
	同意					
	認定					
	承認					
	その他の議案					
	小計	1	1	1	1	
委員会・議員提出	条例案					
	会議規則案					
	専決処分の指定					
	意見書案					
	決議案					
	要望書案					
	その他の議案					
	小計					
合計		1	1	1	1	

第4回臨時会議決事件概要及び結果

○知事提出議案

番号	件名	概要	討論	議決の態様
144	令和3年度群馬県一般会計補正予算（第8号）	歳入歳出増額 21,051,991千円 歳入歳出総額 833,572,164千円	反対（共） 賛成（自）	多数可決 （共反対）

※自＝自由民主党、共＝日本共産党の略です。

委 員 会 委 員 名 簿

(令和3年8月6日現在)

委員会名	委員長	副委員長	委 員
総務企画常任委員会 (10人)	穂積昌信(自)	亀山貴史(自)	久保田順一郎(自) 伊藤祐司(共) 後藤克己(リ) 岸善一郎(自) 安孫子哲(自) 斉藤優(自) 大林裕子(裕) (欠員1名)
健康福祉常任委員会 (10人)	泉沢信哉(自)	秋山健太郎(自)	星名建市(自) 井下泰伸(自) 酒井宏明(共) 金子渡(令) 薬丸潔(公) 本郷高明(リ) 森昌彦(自) (欠員1名)
環境農林常任委員会 (10人)	今泉健司(自)	牛木義(自)	星野寛(自) 狩野浩志(自) 小川晶(リ) 井田泰彦(令) 矢野英司(新) 相沢崇文(自) (欠員2名)
産経土木常任委員会 (10人)	大和勲(自)	松本基志(自)	岩井均(自) 水野俊雄(公) 萩原渉(自) 川野辺達也(自) 八木田恭之(リ) 入内島道隆(如) 高井俊一郎(自) 金沢充隆(令)
文教警察常任委員会 (10人)	伊藤清(自)	神田和生(自)	中沢丈一(自) 福重隆浩(公) 橋爪洋介(自) 角倉邦良(リ) 中島篤(自) あべともよ(令) 金井康夫(自) 加賀谷富士子(リ)
議会運営委員会 (13人)	萩原渉(自)	泉沢信哉(自)	中沢丈一(自) 星名建市(自) 水野俊雄(公) 後藤克己(リ) 中島篤(自) 金井康夫(自) 小川晶(リ) 大和勲(自) 川野辺達也(自) 井田泰彦(令) 今泉健司(自)
新型コロナウイルス 感染症対策 特別委員会 (12人)	星野寛(自)	中島篤(自)	狩野浩志(自) 橋爪洋介(自) 角倉邦良(リ) 水野俊雄(公) あべともよ(令) 酒井宏明(共) 松本基志(自) 八木田恭之(リ) 秋山健太郎(自) 牛木義(自)
デジタルトランス フォーメーションに 関する特別委員会 (11人)	久保田順一郎(自)	金井康夫(自)	星名建市(自) 伊藤祐司(共) 井下泰伸(自) 薬丸潔(公) 小川晶(リ) 斉藤優(自) 相沢崇文(自) 金沢充隆(令) 亀山貴史(自)
脱炭素社会・ 新エネルギーに 関する特別委員会 (11人)	中沢丈一(自)	大和勲(自)	福重隆浩(公) 後藤克己(リ) 萩原渉(自) 金子渡(令) 伊藤清(自) 本郷高明(リ) 泉沢信哉(自) 矢野英司(新) 神田和生(自)
地方創生・ブランド に関する特別委員会 (11人)	岩井均(自)	川野辺達也(自)	岸善一郎(自) 穂積昌信(自) 井田泰彦(令) 加賀谷富士子(リ) 今泉健司(自) 大林裕子(裕) 森昌彦(自) 入内島道隆(如) 高井俊一郎(自)
図書広報委員会 (10人)	橋爪洋介(自)	斉藤優(自)	福重隆浩(公) あべともよ(令) 酒井宏明(共) 本郷高明(リ) 相沢崇文(自) 神田和生(自) 亀山貴史(自) 秋山健太郎(自)
基本条例推進委員会 (12人)	狩野浩志(自)	伊藤清(自)	星名建市(自) 中島篤(自) 金井康夫(自) 薬丸潔(公) 川野辺達也(自) 加賀谷富士子(リ) 泉沢信哉(自) 八木田恭之(リ) 神田和生(自) 金沢充隆(令)

※(自)は自由民主党、(リ)はリベラル群馬、(令)は令明、(公)は公明党、(共)は日本共産党、(裕)は裕心会、(新)は新時代、(如)は如水会を表します。

※委員会名欄の()内の数字は、定数を表します。

議 席 一 覧 表

(令和3年8月6日現在)

H列	岩 井 均 1	星 野 寛 2	久保田 順一郎 3	中 沢 丈 一 4	角 倉 邦 良 5		6
G列	星 名 建 市 1	橋 爪 洋 介 2	狩 野 浩 志 3	福 重 隆 浩 4	後 藤 克 己 5	伊 藤 祐 司 6	
F列	萩 原 涉 1	中 島 篤 2	井 田 泉 3	水 野 俊 雄 4	あ べ と も よ 5	酒 井 宏 明 6	
E列	金 井 康 夫 1	井 下 泰 伸 2	岸 善一郎 3	薬 丸 潔 4	金 子 渡 5	小 川 晶 6	
D列	穂 積 昌 信 1	川 野 辺 達 也 2	大 和 勲 3	安 孫 子 哲 4	井 田 泰 彦 5	本 郷 高 明 6	
C列	松 本 基 志 1	今 泉 健 司 2	泉 沢 信 哉 3	伊 藤 清 4	金 沢 充 隆 5	加 賀 谷 富 士 子 6	
B列	相 沢 崇 文 1	高 井 俊 一 郎 2	森 昌 彦 3	斉 藤 優 4	大 林 裕 子 5	八 木 田 恭 之 6	
A列	牛 木 義 1	秋 山 健 太 郎 2	亀 山 貴 史 3	神 田 和 生 4	矢 野 英 司 5	入 内 島 道 隆 6	

演 壇

※本会議場の改修工事に伴い、第4回臨時会は、議会棟2階の臨時本会議場（201委員会室）で行われた。

議長閉会のあいさつ

議長 井田 泉

閉会に当たり、ごあいさつを申し上げます。

第4回臨時会は、ただ今をもちまして、上程された案件を議了し、ここに閉会の運びとなりました。

議員各位をはじめ、執行部並びに報道機関の皆さまの御協力に対し、厚く御礼を申し上げます。

さて、今議会では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け、飲食店等に対する営業時間短縮要請の実施に伴う協力金の支給のほか、ワクチン接種のさらなる加速化を図るための「県営ワクチン接種センター」の接種能力の増強等に要する補正予算が成立いたしました。

県議会といたしましても、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に当たっては、引き続き関係機関との連携を図りながら、円滑なワクチン接種のほか、感染拡大に歯止めをかけるための対策や医療提供体制の整備、社会的・経済的な影響への対応にも全力で取り組んでまいります。

8月に入り、連日のように強い日差しが照りつけ、厳しい暑さとなる日が続いております。体調を崩しやすい時期でありますので、議員各位におかれましては、健康には十分に御留意いただき、引き続き本県の発展のため御活躍されますことを祈念申し上げまして、閉会のあいさつといたします。

第5回臨時会

議長開会のあいさつ

議 長

井 田 泉



開会に当たり、ごあいさつを申し上げます。

本日ここに、第5回臨時会が招集されましたところ、議員各位には御参集賜り、御礼を申し上げます。

さて、今議会では、新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、本県が緊急事態宣言の対象地域とされたことに伴い、飲食店等に対して実施する営業時間短縮又は休業の要請に係る協力金の支給のほか、当該営業時間短縮又は休業の要請や外出自粛の影響により一定の売上減少のあった県内中小企業者等に対する支援金の支給に要する補正予算案を御審議いただくものであります。

議員各位におかれましては、慎重審議及び適切な議会運営に努められますことを御期待申し上げ、開会のあいさつといたします。

知事の提案説明



知 事

山 本 一 太

今回、新型コロナに係る緊急事態措置の適用に伴う補正予算案を早急に御審議いただくため、臨時県議会を招集させていただきました。審議日程の決定に際し、議員の皆さまに御配慮いただきましたことを、心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症については、8月8日から、本県へのまん延防止等重点措置の適用が開始されました。しかし、その後も新規感染者数が過去最高を更新するなど、感染のピークが見通せません。それに伴い、病床稼働率も上昇し、医療提供体制が逼迫しつつある、極めて厳しい状況にあります。

この原因として、感染力が強いデルタ株への置き換わりが進んでいることや、夏休みなどにより、人の移動が以前ほどには減らないことなどが考えられます。これまでと同じ対策では、感染拡大を防ぐことはできないと考えております。

こうした状況に加え、本県が大きく影響を受ける東京都や、隣県の埼玉県においても感染収束の見通しが立っていないこと、さらには、北関東3県で一体的な対応が必要であることから、今週16日に緊急事態措置の適用を申請しました。これを受け、国において新たに本県を含む7府県に対し、8月20日から9月12日までの間の緊急事態措置の適用が決定されました。

これまで何度も申し上げてきたとおり、強い経済制限は可能な限り避けたいという思いは今も変わっておりませんが、県民の皆さまの命、健康、暮らしを守るためには、ここで強い対策を講じる必要があります。

県民の皆さまには、「外出の機会を2分の1以下に減らす」取組をぜひともお願いするとともに、混雑している場所や時間帯の回避、夜8時以降の外出自粛の徹底もお願いいたします。

また、「生活に必要な場合を除き、県外への移動はしない」ようお願いいたします。県外にお住まいの皆さまにも、群馬県への来県を控えていただくよう、お願いいたします。

事業者の皆さまには、県内全市町村において、カラオケ設備を提供する店舗及び酒類を提供する飲食店等に対する「休業」の要請など、これまでよりも強い制限をお願いすることになります。

県民の皆さま、事業者の皆さまには、さらなる御不便、御負担をおかけすることになりますが、ぜひ、県の方針に御理解をいただき、感染防止対策に御協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

こうした感染防止対策の徹底に加えて、県民の皆さまには、ぜひ、積極的なワクチン接種をお願いしたいと思います。

本県の感染事例を見ると、ワクチン接種率の高い高齢者ほど感染者数が少なく、ワクチン接種率の低い若年層の感染者数が高くなっており、接種による発症、重症化予防の効果は明らかです。

自分の健康を守るため、さらには家族や友人など、自分の大切な人を守るためにも、重ねて、県民の皆さまに積極的なワクチン接種を呼びかけていきたいと考えています。

それでは、本日提出いたしました議案について、御説明申し上げます。

提出議案は、一般会計補正予算1件です。補正予算額は121億4,580万円であり、現計予算額と合算いたしますと、補正後の予算額は8,457億1,796万円となります。

その内容ですが、まず、営業時間短縮や休業に御協力いただいた飲食店等に対して協力金を支給します。緊急事態措置の実施に伴い、全県で協力金単価の下限を4万円に引き上げます。

また、緊急事態措置が9月に及ぶことから、営業時間短縮や休業、外出自粛等の影響を受ける県内事業者に対する支援金の予算を増額します。

以上、提出議案の大要について御説明申し上げます。

本件は、早期に執行する必要があることから、早急に御議決くださいますよう、お願い申し上げます。

質 疑

■ 8月20日 自由民主党 金井康夫 議員
令 明 あべともよ 議員
日本共産党 伊藤祐司 議員

8月20日



- 1 緊急事態宣言に至った経緯について
- 2 緊急事態宣言を受けた具体的な対策について
- 3 感染症対策営業時間短縮等要請協力金について
- 4 感染症対策事業継続支援金について

自由民主党
金井 康夫 議員（沼田市）



- 1 群馬県への緊急事態措置適用について

令明
あべ ともよ 議員（太田市）

1 緊急事態宣言を受けた施策について



日本共産党

伊藤 祐司 議員（高崎市）

委員会・委員長報告

8月20日

産経土木常任委員会



委員長 大和 勲

産経土木常任委員会に付託されました第145号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」の審査経過と結果について、御報告申し上げます。

本委員会では、まず感染症対策営業時間短縮等要請協力金について、審査の迅速化と早期支給に向け

て、どのように対応していくのか質疑されるとともに、一刻も早く協力金が支給されるよう要望されました。

次に、飲食店以外にも旅館業やイベント業など、幅広い業種に影響が及んでいることから、県による独自の支援策や上乗せ支援等の対応について質疑されました。

次に、感染症対策事業継続支援金について、県内事業者によく周知が図られるよう、効果的な周知方法について質疑されました。

次に、緊急事態措置の期限が終了した後に、感染の再拡大とならないよう、先を見通した対応と、その考え方について質疑されました。

以上の点を踏まえ採決した結果、本委員会に付託されました第145号議案は、全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、申し上げます委員長報告といたします。

総務企画常任委員会



委員長 穂積昌信

総務企画常任委員会に付託されました第145号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」の審査経過と結果について、御報告申し上げます。

本委員会では、感染症対策営業時間短縮等要請協力金及び感染症対策事業継続支援金に係る歳入等について、慎重審議の上、採決をした結果、本委員会に付託されました第145号議案は、全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、申し上げまして委員長報告といたします。

議 案 審 議 状 況

第5回臨時会において審議された議案は、知事提出議案の1件でした。

		8月20日提出	提出計	8月20日可決	可決計	否決計
知事提出	予算案	1	1	1	1	
	条例案					
	同意					
	認定					
	承認					
	その他の議案					
	小計	1	1	1	1	
委員会・議員提出	条例案					
	会議規則案					
	専決処分の指定					
	意見書案					
	決議案					
	要望書案					
	その他の議案					
	小計					
合計		1	1	1	1	

第5回臨時会議決事件概要及び結果

○知事提出議案

番号	件名	概要	討論	議決の態様
145	令和3年度群馬県一般会計補正予算(第9号)	歳入歳出増額 12,145,797千円 歳入歳出総額 845,717,961千円		全会一致 可決

委 員 会 委 員 名 簿

(令和3年8月20日現在)

委員会名	委員長	副委員長	委 員
総務企画常任委員会 (10人)	穂積昌信(自)	亀山貴史(自)	久保田順一郎(自) 伊藤祐司(共) 後藤克己(リ) 岸善一郎(自) 安孫子哲(自) 斉藤優(自) 大林裕子(裕) (欠員1名)
健康福祉常任委員会 (10人)	泉沢信哉(自)	秋山健太郎(自)	星名建市(自) 井下泰伸(自) 酒井宏明(共) 金子渡(令) 薬丸潔(公) 本郷高明(リ) 森昌彦(自) (欠員1名)
環境農林常任委員会 (10人)	今泉健司(自)	牛木義(自)	星野寛(自) 狩野浩志(自) 小川晶(リ) 井田泰彦(令) 矢野英司(新) 相沢崇文(自) (欠員2名)
産経土木常任委員会 (10人)	大和勲(自)	松本基志(自)	岩井均(自) 水野俊雄(公) 萩原渉(自) 川野辺達也(自) 八木田恭之(リ) 入内島道隆(如) 高井俊一郎(自) 金沢充隆(令)
文教警察常任委員会 (10人)	伊藤清(自)	神田和生(自)	中沢丈一(自) 福重隆浩(公) 橋爪洋介(自) 角倉邦良(リ) 中島篤(自) あべともよ(令) 金井康夫(自) 加賀谷富士子(リ)
議会運営委員会 (13人)	萩原渉(自)	泉沢信哉(自)	中沢丈一(自) 星名建市(自) 水野俊雄(公) 後藤克己(リ) 中島篤(自) 金井康夫(自) 小川晶(リ) 大和勲(自) 川野辺達也(自) 井田泰彦(令) 今泉健司(自)
新型コロナウイルス 感染症対策 特別委員会 (12人)	星野寛(自)	中島篤(自)	狩野浩志(自) 橋爪洋介(自) 角倉邦良(リ) 水野俊雄(公) あべともよ(令) 酒井宏明(共) 松本基志(自) 八木田恭之(リ) 秋山健太郎(自) 牛木義(自)
デジタルトランス フォーメーションに 関する特別委員会 (11人)	久保田順一郎(自)	金井康夫(自)	星名建市(自) 伊藤祐司(共) 井下泰伸(自) 薬丸潔(公) 小川晶(リ) 斉藤優(自) 相沢崇文(自) 金沢充隆(令) 亀山貴史(自)
脱炭素社会・ 新エネルギーに 関する特別委員会 (11人)	中沢丈一(自)	大和勲(自)	福重隆浩(公) 後藤克己(リ) 萩原渉(自) 金子渡(令) 伊藤清(自) 本郷高明(リ) 泉沢信哉(自) 矢野英司(新) 神田和生(自)
地方創生・ブランド に関する特別委員会 (11人)	岩井均(自)	川野辺達也(自)	岸善一郎(自) 穂積昌信(自) 井田泰彦(令) 加賀谷富士子(リ) 今泉健司(自) 大林裕子(裕) 森昌彦(自) 入内島道隆(如) 高井俊一郎(自)
図書広報委員会 (10人)	橋爪洋介(自)	斉藤優(自)	福重隆浩(公) あべともよ(令) 酒井宏明(共) 本郷高明(リ) 相沢崇文(自) 神田和生(自) 亀山貴史(自) 秋山健太郎(自)
基本条例推進委員会 (12人)	狩野浩志(自)	伊藤清(自)	星名建市(自) 中島篤(自) 金井康夫(自) 薬丸潔(公) 川野辺達也(自) 加賀谷富士子(リ) 泉沢信哉(自) 八木田恭之(リ) 神田和生(自) 金沢充隆(令)

※(自)は自由民主党、(リ)はリベラル群馬、(令)は令明、(公)は公明党、(共)は日本共産党、(裕)は裕心会、(新)は新時代、(如)は如水会を表します。

※委員会名欄の()内の数字は、定数を表します。

議 席 一 覧 表

(令和3年8月20日現在)

H列	岩 井 均 1	星 野 寛 2	久保田 順一郎 3	中 沢 丈 一 4	角 倉 邦 良 5		6
G列	星 名 建 市 1	橋 爪 洋 介 2	狩 野 浩 志 3	福 重 隆 浩 4	後 藤 克 己 5	伊 藤 祐 司 6	
F列	萩 原 涉 1	中 島 篤 2	井 田 泉 3	水 野 俊 雄 4	あ べ ともよ 5	酒 井 宏 明 6	
E列	金 井 康 夫 1	井 下 泰 伸 2	岸 善一郎 3	薬 丸 潔 4	金 子 渡 5	小 川 晶 6	
D列	穂 積 昌 信 1	川 野 辺 達 也 2	大 和 勲 3	安 孫 子 哲 4	井 田 泰 彦 5	本 郷 高 明 6	
C列	松 本 基 志 1	今 泉 健 司 2	泉 沢 信 哉 3	伊 藤 清 4	金 沢 充 隆 5	加 賀 谷 富 士 子 6	
B列	相 沢 崇 文 1	高 井 俊 一 郎 2	森 昌 彦 3	斉 藤 優 4	大 林 裕 子 5	八 木 田 恭 之 6	
A列	牛 木 義 1	秋 山 健 太 郎 2	亀 山 貴 史 3	神 田 和 生 4	矢 野 英 司 5	入 内 島 道 隆 6	

演 壇

※本会議場の改修工事に伴い、第5回臨時会は、議会棟2階の臨時本会議場（201委員会室）で行われた。

議長閉会のあいさつ

議長 井田 泉

閉会に当たり、ごあいさつを申し上げます。

第5回臨時会は、ただ今をもちまして、上程された案件を議了し、ここに閉会の運びとなりました。

議員各位をはじめ、執行部並びに報道機関の皆さまの御協力に対し、厚く御礼を申し上げます。

さて、今議会では、新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、飲食店等に対して実施する営業時間短縮又は休業の要請に係る協力金の支給のほか、当該営業時間短縮又は休業の要請や外出自粛の影響により一定の売上減少のあった県内中小企業者等に対する支援金の支給に要する補正予算が成立いたしました。

県議会といたしましても、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に当たっては、引き続き関係機関との連携を図りながら、円滑なワクチン接種のほか、感染拡大に歯止めをかけるための対策や医療提供体制の整備、社会的・経済的な影響への対応にも、全力で取り組んでまいります。

立秋を過ぎ、暦の上では秋となりましたが、このところ蒸し暑さに加え、不安定な天候が続いております。気温の変化に体が追いつかず、体調を崩しやすい状況となっておりますので、議員各位におかれましては、健康には十分に御留意いただき、引き続き本県の発展のため御活躍されますことを祈念申し上げまして、閉会のあいさつといたします。

第3回前期定例会

議長開会のあいさつ



議長

井田 泉

開会に当たり、ごあいさつを申し上げます。

本日ここに、令和3年第3回定例会が招集されましたところ、議員各位には御参集賜り、御礼を申し上げます。

また、先般開催した二度の臨時会では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け、県民へのワクチン接種の加速化を図るための「県営ワクチン接種センター」の接種能力の増強や、飲食店等への営業時間短縮要請の実施に係る協力金の支給等について熱心に御議論いただき、施策のさらなる推進に御尽力賜りましたことに對し、重ねて御礼を申し上げます。

さて、その新型コロナウイルス感染症については、少しずつ第5波収束に向けた兆しも見えてありますが、現在もなお、本県を含む19都道府県に対して、「緊急事態宣言」が発令されるなど、依然として予断を許さない状況が続いております。

県内の新規感染者数は、このところ減少に転じておりますが、今後、ワクチン接種の停滞や変異株の状況によっては感染が再び急拡大する可能性も否定できません。加えて、医療提供体制に関する各指標も、ようやく国のステージⅣの水準を下回りましたが、感染者数の減少に比べ、重症者数の減少が緩やかであることなどから、医療機関にはまだまだ負荷がかかった状態となっております。

一方、感染収束後の社会経済活動の再開に向けた出口戦略についても、国民的な議論の必要性が指摘されているところです。

そのような中であって、今期定例会では、新型コロナウイルス感染症に対応するため、軽症者等を受け入れる宿泊療養施設の追加確保や自宅療養者等の健康観察等を行う「健康観察センター」の拡充のほか、厳しい経営環境が長期化している酒類販売業者等を対象とした支援金の県単独の上乗せ支援など、早急に対応が必要な施策を実施するための一般会計補正予算に加え、「^{あいきょう}愛郷ぐんまプロジェクト第3弾」の実施など、第5波収束後の経済活動再開を見据えた施策を実施するための一般会計補正予算の提出が予定されております。

県議会といたしましても、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に当たっては、引き続き関係機関との連携

を図りながら、円滑なワクチン接種のほか、感染拡大に歯止めをかけるための対策や医療提供体制の整備、社会的・経済的な影響への対応にも、全力で取り組んでまいりますので、議員各位の御協力をお願い申し上げます。

このほか、今期定例会では、来年4月に開署が予定される高崎北警察署の新設に伴う条例改正や、Gメッセ群馬に「県央ワクチン接種センター」を設置したことにより中止、延期等となったイベント等への損失補償に関する和解をはじめ、各般にわたる議案等を御審議いただくこととなります。

さて、議員各位も御承知のとおり、この程、6月から進められてきた議場の改修工事が終了し、本日から、音響や表示板などのシステムが新しくなりました。この間、御尽力いただいた執行部及び事務局の皆さまに感謝を申し上げますとともに、議員各位におかれましても、心を新たに、慎重審議及び適切な議会運営に努められますことをお願い申し上げます。

結びに、執行部並びに報道機関の皆さまの格別なる御協力をお願い申し上げ、開会のあいさつといたします。

知事の提案説明



知 事

山 本 一 太

9月21日

令和3年第3回前期定例県議会の開会に当たり、提案説明に先立ち、一言申し上げます。

はじめに、東京オリンピック・パラリンピックの開催についてです。多くの日本選手が活躍し、コロナ禍で閉塞した日本にとって明るい話題となりました。

群馬県関係選手では、オリンピックにおいて、主力として8人もの選手が出場したソフトボールとフェンシング男子エペ団体の見延和靖選手が金メダルを獲得しました。パラリンピックにおいては、陸上男子5,000mで唐澤剣也選手が銀メダルを獲得しました。他にも、複数の選手が入賞を果たしています。

このような選手の活躍は、県民の誇りであり、多くの県民に夢と希望と感動を与えてくれました。ここに改めて、県民とともに選手の皆さまの健闘を称え、心からお祝いと感謝を申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、群馬県に適用されている「緊急事態措置」に関しては、9月30日まで期限が延長されました。

医療関係者を始め、県民や事業者の皆さまの御協力により、現在県内の新規感染者数は減少傾向にあります。しかし、県内医療提供体制は、依然として厳しい状況が続いています。感染力の強いデルタ株の影響等を考えると再び感染が急拡大する可能性も否定できません。

まずは、9月末までに感染を徹底的に抑え込むことが何より重要だと思います。そのことが医療を守り、さらには社会経済活動の早期再開にもつながると考えています。

県民の皆さま、事業者の皆さまには、引き続き、不要不急の外出自粛や営業時間短縮の要請など、多大な御不便、御負担をおかけしますが、ぜひとも感染防止対策への御協力をお願い申し上げます。

日常生活の制限が長引く中で、県民の皆さまの中には、先の見えないことによる不安や不満を抱かれている方もいらっしゃると思います。県としては、感染拡大を抑え込むと同時に、こうした不安を抱える県民の皆さまに対して、この先の展望を示すことも重要だと考えています。

9月9日に、国において「ワクチン・検査パッケージ」が示されました。ワクチン接種を条件とした行動制限緩和の方針です。

群馬県においては、全国に先駆けて「県営大規模接種センター」を整備しました。各市町村においても、接

種の加速化に懸命に取り組んでいただきました。その結果、全国トップクラスのスピードで県民へのワクチン接種が進んでいます。

これは、日常生活の回復に向けた準備が全国に先んじて群馬県で整いつつある、ということでもあります。

そこで、全国に先駆けてこれからの数カ月で県が取り組む対策を、「新型コロナ対策ロードマップ」として取りまとめました。新型コロナ「第5波」の早期収束と、1日でも早い社会経済活動の再開を目指すものです。

ワクチン接種が進んでいる群馬県だからこそ、社会経済活動の再開についてもモデルとなる取組をいち早く進めていくべきであると感じています。その具体的な取組として、「群馬県版ワクチンパス（仮称）」を活用した需要喚起策を実施したいと考えています。

こうした先進的な取組を進めるためには、社会経済活動再開の「基盤」となる医療提供体制の強化も不可欠です。

今議会に提出いたしました9月補正予算案では、病床等のさらなる確保や自宅療養者への支援など、「医療提供体制」の強化を重点的に行います。

それでは、本日提出いたしました議案の概要について、御説明申し上げます。

今回の提出議案は、予算関係2件、事件議案7件の合計9件です。

〔予算関係〕

はじめに、予算関係について御説明いたします。

先ほど、「新型コロナ対策ロードマップ」を御説明しました。今回の補正予算では、早期に取り組むべき対策と、第5波収束後を見据えた対策について、議案を2つに分けて提出することといたしました。

2つの議案を合計した一般会計の補正予算額は、490億8,654万円となります。現計予算と合算いたしますと、補正後の予算額は9,092億3,867万円となります。

1つ目の第146号議案は、新型コロナへの対応のうち、早期に取り組むべき対策として、316億5,447万円を予算措置しようとするものです。

その主な内容ですが、まず、「医療提供体制」を強化するため、専用病床及び宿泊療養施設のさらなる確保を進めます。加えて、健康観察センターの拡充など、自宅療養者への支援体制を強化します。さらに、高齢者・障害者・児童福祉施設等におけるスクリーニング検査を実施します。

また、「ワクチン接種」のさらなる加速化を図るため、県央ワクチン接種センターの設置期間の延長に必要な経費を追加します。

このほか、酒類提供の自粛など最も影響を受けている酒類販売事業者等への追加支援や、県立学校のオンライン授業に活用する機器を追加で整備します。

本議案を早急に御審議いただくために、議事日程に御配慮いただきましたことを、議員各位に感謝申し上げます。

次に、2つ目の第147号議案ですが、第5波収束後を見据えた対策など、174億3,207万円を予算措置しようとするものです。

まず、経済活動再開に向けた需要喚起策として、「^{あいきょう}愛郷ぐんまプロジェクト第3弾」や、Go To Eat 事業のプレミアム率上乘せを行います。これらの事業は、ワクチン接種済者等を対象に実施いたします。

また、コロナ禍で売上が減少している農畜産物の新たな販路開拓を支援します。さらに、中小私鉄の安全運行を確保するための支援を沿線市町村と協調して実施します。

このほか、コロナ対策以外にも、小学生が巻き込まれた痛ましい交通事故の発生を受けた通学路の安全対策を行います。

〔事件議案〕

次に、事件議案のうち、主なものについて申し上げます。

第152号議案は、来年4月に開署を予定している高崎北警察署の新設に伴う所要の改正を行おうとするものです。

第153号議案は、Gメッセ群馬に県央ワクチン接種センターを設置したことに伴い、中止や延期となったイベント等に係る損失の補償について、和解しようとするものです。

以上、提出議案の大要について御説明申し上げます。

何とぞ、慎重御審議の上、御議決くださいますようお願い申し上げます。

10月12日

本日、追加提出いたしました議案について、御説明申し上げます。

追加提出議案は、予算議案1件、事件議案17件であります。

第155号議案の一般会計補正予算は、県議会の高崎市選挙区において、2人の欠員が生じたことから、補欠選挙を実施する必要性が生じたため、これに要する経費を計上しようとするものです。補正予算額は1億108万円で、補正後の一般会計予算額は9,093億3,975万円となります。

続いて、第156号議案から第170号議案までは、「公害審査会委員の選任について」です。これは、現在の委員の任期が、10月31日をもって満了となりますので、その後任者として、長谷川文恵氏ほか、14人を選任しようとするものです。

次に、「決算の認定について」は、令和2年度の一般会計、特別会計及び企業会計の合計19会計の決算について認定をお願いするものであります。

次に、第171号議案は、電気事業会計について、令和2年度決算に伴う剰余金の処分を行おうとするものです。

以上、追加提出いたしました議案の概要について御説明申し上げます。

なお、県議会議員補欠選挙に係る補正予算及び公害審査会委員の選任については、事案の性質上、早急に御議決くださいますようお願い申し上げます。

質 疑 ・ 一 般 質 問

■ 9月21日 自由民主党 川野辺達也 議員
令 明 金子 渡 議員
公 明 党 水野俊雄 議員

■ 9月27日 自由民主党 金井康夫 議員
リベラル群馬 後藤克己 議員
自由民主党 神田和生 議員
令 明 金沢充隆 議員

■ 9月28日 自由民主党 穂積昌信 議員
公 明 党 薬丸 潔 議員
自由民主党 伊藤 清 議員

■ 9月30日 自由民主党 萩原 涉 議員
リベラル群馬 本郷高明 議員
自由民主党 亀山貴史 議員
自由民主党 中沢丈一 議員

9月21日



自由民主党
川野辺達也 議員（邑楽郡）

- 1 ワクチン接種率の見通し等について
- 2 新型コロナウイルス感染症専用病床の整備について
- 3 新治療法の実施について
- 4 疑い救急患者の受入れ状況と対策について
- 5 軽症者等療養場所の確保・機能強化について
- 6 自宅療養者に対する支援について
- 7 酒類販売事業者等への支援について
- 8 分散登校時の生徒・学生への支援について



令明
金子 渡 議員（渋川市）

- 1 新型コロナウイルス感染症対策にかかる療養体制について



- 1 「新型コロナ対策ロードマップ」について

公明党

水野 俊雄 議員（前橋市）



- 1 PCR 検査の抜本的な拡充について

日本共産党

伊藤 祐司 議員（高崎市）

9月27日 第1日目



- 1 菅総理の評価と新総理への期待について
- 2 新型コロナワクチン接種の効果について
- 3 利根川水系のダムの事前放流について
- 4 新型コロナ対策ロードマップについて
- 5 看護人材の確保について
- 6 特色ある高校教育の推進と高校再編整備について
- 7 農業者への収入保険の加入促進について
- 8 健康ポイント制度について

自由民主党

金井 康夫 議員（沼田市）



リベラル群馬

後藤 克己 議員（高崎市）

- 1 社会経済活動再開に向けた需要喚起策について
- 2 知事の政治姿勢について
- 3 脱炭素社会に向けた取組について
- 4 ぐんま^{かいそか}快疎化リーディングプランについて



自由民主党

神田 和生 議員（藤岡市・多野郡）

- 1 GIGA スクール構想について
- 2 通学路危険箇所整備について
- 3 県道前橋長瀬線（柳瀬橋工区）について
- 4 防災・減災、国土強^{きょうじんか}靱化のための5か年加速化対策予算について
- 5 ウィズコロナ・アフターコロナの時代の経済対策について



令明

金沢 充隆 議員（藤岡市・多野郡）

- 1 社会経済活動再開に向けた需要喚起策について
- 2 コロナ禍における雇用対策について
- 3 医療的ケア児支援法の施行に伴う今後の取組について
- 4 自然災害による死者「ゼロ」に向けた福祉防災の充実について



自由民主党
穂積 昌信 議員（太田市）

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
- 2 障がいのある子どもたちの教育について
- 3 中小企業におけるロボット活用について
- 4 第三者事業承継について
- 5 ジェトロ群馬の取組について
- 6 新規就農者支援の現状について
- 7 スポーツ振興について



公明党
薬丸 潔 議員（太田市）

- 1 新型コロナワクチン未接種者への配慮について
- 2 緊急事態宣言解除後の飲食店への支援について
- 3 市町村への自宅療養者に関する情報提供について
- 4 単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への転換促進について
- 5 県営住宅の入居者の垂直避難について
- 6 県営住宅へのエアコンの設置状況について
- 7 生命を育む講座について
- 8 奨学金返還支援について
- 9 校庭の芝生化推進について



自由民主党
伊藤 清 議員（安中市）

- 1 新型コロナウイルス感染症により児童生徒等が受ける様々な影響について
- 2 新型コロナワクチン接種について
- 3 県産木材の生産量と需要の拡大について
- 4 消防団等にかかる対策について
- 5 群馬県のアユ釣りについて
- 6 群馬県の蚕糸業振興について
- 7 群馬県のうめの振興について



- 1 ジェンダー平等社会実現に向けた取組について
- 2 気候変動・気候危機への対策について
- 3 新型コロナウイルス対策について

日本共産党

酒井 宏明 議員（前橋市）

9月30日 第3日目



- 1 新型コロナウイルス感染症対策の課題について
- 2 感染症や自然災害に強い社会の危機管理体制の構築について
- 3 群馬県の「グリーン・リカバリー」等の経済復興政策について
- 4 コロナ禍での議会や行政の身を切る改革について

自由民主党

萩原 渉 議員（吾妻郡）



- 1 新型コロナワクチン差別について
- 2 ワクチンパスについて
- 3 人材確保と応援体制について
- 4 ICTスキルを有する職員確保と教育・研修について
- 5 ヤングケアラーについて
- 6 コロナ禍での教職員多忙化を改善する支援について
- 7 臨時教職員の確実な配置について
- 8 ケアリーバーの支援について
- 9 投票困難者の選挙権行使について

リベラル群馬

本郷 高明 議員（前橋市）



自由民主党
亀山 貴史 議員（桐生市）

- 1 地域医療の整備・充実について
- 2 子育て環境の整備について
- 3 スポーツの環境整備について
- 4 群馬県の新たな移住戦略について
- 5 デジタルトランスフォーメーションについて
- 6 豚熱（CSF）について



自由民主党
中沢 丈一 議員（前橋市）

- 1 新型コロナウイルス感染症収束への道筋について
- 2 群馬県民会館のあり方見直しについて
- 3 豚熱発生時の全頭処分の緩和について
- 4 農地法に基づく所有者不明の遊休地等の公示制度について
- 5 日本型直接支払交付金について
- 6 新型コロナウイルスの影響による米価下落について
- 7 盛土総点検の状況と今後の取組について

委員会・委員長報告

9月21日

健康福祉常任委員会



委員長 泉沢信哉

健康福祉常任委員会に付託されました第146号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」の審査経過と結果について、御報告申し上げます。

本議案は、新型コロナウイルス感染症対策に関する医療提供体制の強化及びワクチン接種のさらなる加速化のための予算案であります。

まず、新型コロナウイルス感染症患者の本県の医療機関への入院やホテル療養施設の医療提供体制について質疑されました。

次に、新型コロナウイルス感染症患者の情報に関して、市町村との情報共有の方法について質疑されました。

次に、抗体カクテル療法の実施に関して、具体的な実施基準や優先順位の考え方、外来診療での実施

について質疑されました。

次に、医療機関の病床確保に関して、新たに受入を検討する医療機関が、現在実施している医療機関を視察する際の県の仲介の必要性が質されました。

次に、宿泊療養施設の拡充に関して、施設を確保する地域の考え方について質疑されました。

次に、自宅療養者・入居待機者・早期退院者等への支援に関して、オンラインを活用した診療や健康観察の取組について質疑されました。

次に、新型コロナワクチン接種のさらなる加速化に関して、県央ワクチン接種センターの会場変更について、移行に係る準備状況や運営体制について質疑されました。

次に、ワクチン接種業務に従事する県職員に関して、時間外勤務の状況や負担軽減について質疑されました。

次に、自宅療養者等の外来診療に関して、受入医療機関に対する支援金制度の考え方について質疑されました。

最後に、高齢者施設等におけるスクリーニング検査に関して、対象とする施設等について質疑されました。

以上の点を踏まえ採決した結果、本委員会に付託されました第146号議案は、全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、申し上げます委員長報告といたします。

産経土木常任委員会



委員長 大和 勲

産経土木常任委員会に付託されました第146号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」の審査経過と結果について、御報告申し上げます。

本委員会では、まず、感染症対策事業継続支援金の酒類販売事業者枠について、支給対象となる売上

高の減少割合を50%以上とした根拠や考え方について質疑されました。

また、酒類販売事業者以外にも、酒類の提供ができないことにより厳しい状況となっている業種は多岐にわたることから、事業者の実態を把握し、必要な支援策について、引き続き検討されるよう要望されました。

また、支援金の早期支給と事業者に寄り添った窓口対応がなされるよう要望されました。

また、事業転換等を行う事業者に対する支援についても、必要とする事業者に周知が図られるよう要望されました。

以上の点を踏まえ採決した結果、本委員会に付託されました第146号議案は、全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、申し上げます委員長報告といたします。

文教警察常任委員会



委員長 伊藤 清

文教警察常任委員会に付託されました第146号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」の審査経過と結果について御報告申し上げます。

本議案は、県立学校のオンライン授業に活用する機器の整備及びPCR検査キットの整備に係る議案であります。

審査では、はじめに、貸出し用モバイルルーターの整備台数の根拠について質されるとともに、卒業時の返却等について質疑されました。

次に、貸出し用モバイルルーターの整備時期について質されるとともに、通信環境のない生徒への分散登校時の対応について質疑され、特別支援学校の児童生徒に対する健康面での配慮について要望されました。

次に、分散登校により家庭で学習する日の出席の取扱いについて質されるとともに、貸出し用モバイルルーターの通信費の来年度以降の考え方について質疑されました。

また、いろいろな種類があるPCR検査キットの中で、どのようなものを想定しているのかを質されるとともに、このキットが利用できる対象者について質疑されました。

さらに、このほかにも、県立学校のPCR検査の現状について、PCR検査キット不足時の対応についても活発な議論が行われました。

これらの点を踏まえ採決した結果、本委員会に付託されました議案は、全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、申し上げます委員長報告といたします。

総務企画常任委員会



委員長 穂積昌信

総務企画常任委員会に付託されました第146号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」の審査経過と結果について、御報告申し上げます。

本委員会では、医療提供体制の強化、ワクチン接種のさらなる加速化、酒類販売事業者等に係る感染症対策事業継続支援金、県立高校、県立特別支援学校のICT推進等に係る歳入等について、慎重審議の上、採決をした結果、本委員会に付託されました第146号議案は、全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、申し上げまして委員長報告といたします。

健康福祉常任委員会



委員長 泉沢 信哉

健康福祉常任委員会に付託されました案件の審査経過と結果について、御報告を申し上げます。

はじめに、付託議案の審査についてであります。第147号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」に関して、健康福祉部関係では、生活福祉資金の特例貸付に関して、貸付けの状況や制度の対象範囲について質疑されるとともに、貸付けを利用しても生活に困窮する方へ他の制度の周知について要望されました。

生活こども部関係では、新型コロナウイルス感染症の影響による修学旅行の中止や延期に伴う追加的経費への支援について質疑されました。

また、第149号議案「群馬県個人情報保護条例の一部を改正する条例」、第150号議案「群馬県安心こども基金条例の一部を改正する条例」についても、慎重に審査して採決した結果、本委員会に付託されました各議案は、いずれも全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

このほか、委員会の所管事項について、各般の議論が行われましたので、以下、その主な項目について申し上げます。

- まず、健康福祉部・病院局関係については、
- ・新型コロナウイルス感染症の第5波の対応の中での課題について
 - ・感染再拡大防止に係る対策について
 - ・宿泊療養・自宅療養に係るDX活用の取組について
 - ・医療従事者への支援金の支給方法について
 - ・県営ワクチン接種センターのワクチン接種に係る安全対策等について
 - ・感染経路不明の新型コロナウイルス感染者について
 - ・ワクチン接種済者の感染防止に係る今後の対策について
 - ・新型コロナウイルスの後遺症の相談窓口や専門外来の設置について
 - ・県立病院における医療事故件数の増加要因について
 - ・ゆうあいピック記念温水プールにおける高齢者利用の有料化による影響について
 - ・小児医療センターにおける外国人の出産について
 - ・自殺対策における^{いのち}生命を育む講座の実施状況について
 - ・自殺対策におけるSNSの活用状況について
 - ・健康観察センターにおける支援物資の配付基準について
 - ・新型コロナワクチンに係る供給状況、モデルナ製の2回目接種場所の確保、アストラゼネカ製の接種状況、年代別の接種状況について
 - ・介護人材不足への対応について
 - ・ナースセンターへの新規登録状況及び就業状況について
 - ・看護職員の確保や潜在看護師の復職支援の取組について

- ・ブレイクスルー感染の現状について
 - ・新型コロナワクチンの3回目接種に向けた検討状況について
- 次に、生活こども部関係については、
- ・児童虐待防止に係る対応について
 - ・児童虐待に係る関係機関との情報共有について
 - ・コロナ禍における子ども食堂の活動への支援や必要となる手続きへの対応について
 - ・週末里親制度の実施状況について
 - ・養育費確保に係る支援制度への対応状況について

- ・思春期保健対策事業の内容について
 - ・コロナ禍における結婚支援について
 - ・高崎市の児童相談所設置準備に向けた連携等について
 - ・今後の県内の児童相談所設置について
 - ・シングルマザー専用シェアハウスの現状と課題について
- これらの事項につきましても、活発な議論が行われました。

以上、申し上げまして委員長報告といたします。

環境農林常任委員会



委員長 今泉 健司

環境農林常任委員会に付託されました案件の審査経過と結果について、御報告を申し上げます。

はじめに、付託議案の審査についてであります。第147号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」に関して、まず、環境森林部関係では、未利用食品マッチングシステムに関して、東京都の取組及びその成果について質疑されました。

続いて、農政部関係では、産直ECサイトとの連携に関して、送料無料キャンペーンの期間や委託予定先、キャンペーン実施後の県の費用負担、運営する2つの産直ECサイトの掲載内容の違い、今後のスケジュールについて質疑されました。

次に、試験研究機関受託研究に関して、連携している大学・企業の実名やゲノム編集の成果、ゲノム編集された蚕への置き換わり時期について質疑されました。

以上の質疑を踏まえて、採決した結果、本委員会に付託されました各議案は、いずれも全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

引き続き行いました請願の審査結果につきましては、お手元に配付の報告書のとおりであります。

このほか、委員会の所管事項について、各般の議論が行われましたので、以下、その主な項目について申し上げます。

まず、環境森林部関係ですが、

- ・林業労働力対策について
- ・内部統制について
- ・ぐんま緑の県民基金事業について
- ・県立赤城公園活性化に向けた基本構想策定及びビジターセンターにおける官民連携の取組について
- ・防災・減災、国土強^{きょうじん}靱化のための5か年加速化対策について
- ・J-クレジット制度の取組状況について
- ・所有境界不明森林について
- ・プラスチックごみ「ゼロ」推進について

- ・県産材の需要拡大について
次に、農政部関係については、
- ・4月に発生した凍霜害について
- ・イノシシ、ニホンジカの捕獲等の状況について
- ・米価下落対策について
- ・中山間地域等直接支払交付金について
- ・県内の遊休農地の現状と対策について

- ・ぐんまフラワーパークの有効活用に関するサウン
ディング型市場調査について
 - ・職員の時間外勤務の状況について
 - ・豚熱対策及び豚熱発生農場の経営再開について
これらの事項につきましても、活発な議論が行わ
れました。
- 以上、申し上げまして委員長報告といたします。

産経土木常任委員会



委員長 大和 勲

産経土木常任委員会に付託されました案件の審査経過と結果について、御報告を申し上げます。

はじめに、付託議案の審査についてであります。第147号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」に関して、まず、産業経済部関係では、県央ワクチン接種センター設置に伴う損失補償について、第153号議案「和解について」と併せ、補償金額の算定方法や予約の取消を行った全15件の交渉の進捗状況や和解時期の見込み等について質疑されました。

続いて、県土整備部関係では、通学路における交通安全対策について、緊急合同点検の実施状況やガードレール設置の考え方など、より安全な歩行者と車両の分離方法について、質疑されました。

また、第147号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」のうち、ぐんまワクチン手帳を活用して実施する「ぐんまGo To Eat ワクチンプレミアム」及び「愛郷ぐんまプロジェクト第3弾」については、その内容が、知事戦略部、総務部、生活こども部、健康福祉部も関わる案件のため、総務企画常任委員会及び健康福祉常任委員会と連合で審査を行いました。

その議論の主なものとして、まず、ぐんまワクチン手帳の導入に至った経緯と検討状況について問われ、ワクチン接種ができない方等に対する配慮や支援についての県の考え方が質されました。

また、「愛郷ぐんまプロジェクト第3弾」について、これまでのように県民一律を対象とするものではなく、ワクチン2回接種者等を対象とした意図や、試行の結果や国の実証実験を受けて、どのように本格実施の事業内容に反映させていくのか質されました。

さらに、「ぐんまGo To Eat ワクチンプレミアム」についても、通常券とプレミアム券の発行数の割合や販売場所が異なる点等について質疑されるなど、第147号議案について集中して丁寧な審査が行われました。

その後、「愛郷ぐんまプロジェクト第3弾」について、事業内容の見直しが行われたため、改めて委員会を開き審査を行ったところ、見直しに至った経

緯等について質されるとともに、県民に対してしっかりと事業内容を周知することや、事業の制度設計に当たっては、さまざまな意見を聞き、丁寧に議論を行うことなどが要望されました。

また、採決に先立ち、見直し後の「愛郷ぐんまプロジェクト第3弾」については、ワクチン接種ができない方等に対する一定の配慮がなされ、県民全てが対象とされたことから、賛成する旨の討論が行われました。

以上の点を踏まえ採決した結果、本委員会に付託されました各議案はいずれも全会一致をもって、原案のとおり可決・承認すべきものと決定いたしました。

なお、委員から、第147号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」に対して、附帯決議案が提出されました。

その趣旨は、ぐんまワクチン手帳を活用して実施する「ぐんまGo To Eat ワクチンプレミアム」及び「愛郷ぐんまプロジェクト第3弾」は、低迷する飲食業・観光業に関する需要を喚起し、経済活動再開の推進力になるものと期待をしているところであるが、ワクチン接種ができない方等もいるため、不公平や差別が生じないように十分配慮することや、ストップコロナ！対策認定制度をさらに促進し、感染防止対策を強化すること、事業実施の時期については、感染状況をよく見極め、適切に行うこと、また、制度・事業の内容について、県民誰もが分かるよう周知するとともに、ワクチン接種ができない方への心理的負担を与えないよう、十分に配慮することなどを要望するものであります。

この附帯決議案を採決した結果、全会一致をもって発議することを決定いたしました。

次に、請願の審査結果につきましては、お手元に配付の報告書のとおりであります。

このほか、委員会の所管事項について、各般の議論が行われましたので、以下、その主な項目について申し上げます。

はじめに、産業経済部関係については、

- ・感染症対策事業継続支援金について
- ・ニューノーマル創出支援事業について
- ・緊急事態措置解除後の事業者支援について
- ・デジタルクリエイティブセンター（仮称）について

次に、企業局関係については、

- ・県営ゴルフ場の役割と今後の在り方について
- ・ハッ場発電所におけるプロジェクトマッピングについて

次に、県土整備部関係については、

- ・県土整備部公共工事における県産材の活用について
- ・防災・減災、国土強^{きょうじん}靱化のための5か年加速化対策について
- ・交通まちづくり戦略の見直しについて
- ・県営住宅の水害時垂直避難について
- ・単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換について

これらの事項につきましても、活発な議論が行われました。

以上、申し上げまして委員長報告といたします。

文教警察常任委員会



委員長 伊藤 清

文教警察常任委員会に付託されました案件の審査経過と結果について、御報告申し上げます。

はじめに付託議案についてであります。

第147号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」に関して、教育委員会では、障害のある児童生徒のための音声読み上げソフト等の入出力支援装置の整備内容などについて質疑されるとともに、今後効果的な整備を推進するよう要望されました。

次に、天文台における宇宙デブリ（宇宙空間にある人工衛星の破片等）の分光観測に関して、事業内容及び研究経費の用途について質疑されるとともに、天文台への寄付に関する経緯について質され、寄付金で購入する動画撮影機材の活用について要望されました。

次に、警察本部関係では、通学路の安全対策に関して、通学路における合同点検の実施状況及び点検後の対応について質疑されるとともに、引き続き危険箇所の解消を進めるよう要望されました。

次に、第152号議案「警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例の一部を改正する条例」につい

て、間もなく開署される高崎北警察署への期待が示されるとともに、遅滞のない開署について要望されました。

以上の点を踏まえ採決した結果、本委員会に付託されました各議案は、全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

このほか、委員会の所管事項について各般の議論が行われましたので、以下、その主な項目について申し上げます。

はじめに、教育委員会関係については、

- ・分散登校・通常登校とコロナ発生状況について
- ・コロナ禍における就職の現状について
- ・コロナ禍における部活動の状況について
- ・部活動における性暴力の現状と対策について
- ・公立高校入学者選抜制度について
- ・教育現場における始動人^{しどうじん}の育成について
- ・特別支援学級の外国籍児童生徒の調査について
- ・群馬県における特別免許状の活用状況について
- ・ICT 端末を用いた「いじめ」について
- ・教職員の多忙化解消について

次に、警察本部関係については、

- ・女性警察官の幹部登用について
- ・県内の暴力団の情勢と群馬県暴力団排除条例について
- ・ストーカー規制法の一部改正について
- ・小・中・高校生の自転車事故の現状及び特徴並びに今後の対応について
- ・高齢運転者の事故の発生状況及び免許証の返納と対応について

これらの事項につきましても、活発な議論が行われました。

以上、申し上げまして委員長報告といたします。

総務企画常任委員会



委員長 穂積昌信

総務企画常任委員会に付託されました案件の審査経過と結果について、御報告申し上げます。

はじめに付託議案についてであります。第147号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算」に関して、知事戦略部関係では、NETSUGEN^{ネッツゲン}アライアンスについて、その内容が質されるとともに、県外に対するPR方法、利用者相互の連携の推進に向けた取組及びテレワークの推進に向けた取組について、質疑が行われました。

次に、総務部関係では、歳入に関して、諸収入を財源とする農業関係の共同研究について質されました。

また、第147号議案の審査においては、ぐんまワクチン手帳を活用して実施するぐんまGo To Eatワクチンプレミアム及び愛郷^{あいきょう}ぐんまプロジェクト第3弾について、その内容が総務企画、健康福祉、産経土木の各常任委員会の所管事項に関連することから、3委員会による連合審査が行われ、本委員会の委員からは、ぐんまワクチン手帳の開発費用についてなどの質疑が行われました。

その後、愛郷ぐんまプロジェクト第3弾については、事業内容の変更があったことから、改めて委員会を開催し、その財源について審査を行いました。

次に、第148号議案「群馬県行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例の一部を改正する条例」に関しては、改正内容が質されるとともに、条例改正がマイナンバーカードの取得強制につながるのではないか、当局の見解が求められました。

次に、承第5号「令和3年度群馬県一般会計補正予算」に関しては、国庫支出金を財源とした感染症対策営業時間短縮等要請協力金の執行状況が質されました。

なお、採決に先立ち、第147号議案に関して、国庫支出金を財源とするぐんまGo To Eatワクチンプレミアム及び愛郷ぐんまプロジェクト第3弾について、反対する旨の討論が行われました。

以上の点を踏まえ採決した結果、本委員会に付託されました各議案のうち、第147号議案及び第148号議案は多数をもって、承第5号は全会一致をもって原案のとおり可決・承認すべきものと決定いたしました。

引き続き行いました請願の審査結果につきまして、お手元に配付の報告書のとおりであります。

このほか、委員会の所管事項について、各般の議論が行われましたので、以下、その主な項目について申し上げます。

まず、知事戦略部関係ですが、

- ・市町村業務システムの標準化・共通化について
- ・始動人^{しどうじん}の育成について
- ・県民幸福度アンケートについて
- ・アニメ「ぐんまちゃん」の放送後の反響と今後の取組について
- ・上海事務所の活動内容と今後の取組について
- ・ぐんまDX加速化プログラムにおけるチャレンジ事業について
- ・「ぐんま広報」の読者アンケート結果について
- ・「ぐんま広報」の配布手段について

次に、総務部関係では、

- ・新型コロナ対応が財政に与える影響について
- ・県庁の公用車の管理状況及び更新の考え方について
- ・消防団員の処遇改善に係る取組について
- ・チャレンジウィズぐんまについて
- ・新型コロナに対応するための業務の見直しについて
- ・県有施設のあり方見直し最終報告の改定案による群馬県民会館の利用施設について
- ・県職員のメンタルヘルス、パワハラ及びセクハラ

対策について

- ・県土整備部の道路予算に対する考え方について
 - ・危機管理のDX推進について
- 最後に地域創生部関係では、
- ・「^{はにわ}埴輪王国ぐんま」発信事業の取組状況について
 - ・上野国分寺まつりで使用した^{てんびょう}天平衣装の活用について
 - ・伊香保リンクのサウンディング調査について

これらの事項につきましても、活発な議論が行われました。

以上、申し上げまして委員長報告といたします。

決算特別委員会



委員長 久保田 順一郎

決算特別委員会における審査の経過と結果について、御報告申し上げます。

本委員会は10月12日に設置され、令和2年度群馬県一般会計決算、同特別会計決算及び同公営企業会計決算並びに第171号議案について、慎重に審査を行ってまいりました。

10月18日及び19日には各分科会が開催され、決算内容に関する審査が行われたところではありますが、それらの概要につきましては、10月26日に開催されました総括質疑における主査報告のとおりであります。

また、分科会では、現地調査が行われ、昨年度事業の実施状況やその効果などを現場にて、改めて確認したところであります。

さらに、総括質疑においては、各党会派を代表する6人の委員により質疑が行われました。

その主な項目について申し上げます。

- ・令和2年度歳入歳出決算の評価について

- ・ぐんま暮らし支援センターの実績と今後の取組について
- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・企業局の新規産業団地の造成について
- ・藤岡特別支援学校の整備について
- ・有害鳥獣対策における人材育成について
- ・令和元年東日本台風及び令和2年豪雨災害の復旧状況について
- ・県庁32階の整備効果について
- ・東部児童相談所の移転整備の効果について
- ・高等学校等奨学金貸与事業について
- ・県出資法人等における女性の活躍推進の取組について
- ・新機体を導入した防災ヘリについて
- ・痴漢被害者への支援について

なお、これらの項目のほかにも、各般にわたり議論が交わされたことは、皆さま御承知のとおりであります。

以上の審査を踏まえ、本委員会に付託されました各案件について採決した結果、お手元に配付の報告書のとおり、令和2年度群馬県一般会計歳入歳出決算、令和2年度群馬県用地先行取得特別会計歳入歳出決算及び令和2年度群馬県流域下水道事業、同工業用水道事業、同水道事業、同団地造成事業の各公営企業会計決算については多数をもって、その他の会計決算及び第171号議案については全会一致をもって、認定及び可決すべきものと決定いたしました。

以上、申し上げまして委員長報告といたします。

議 案 審 議 状 況

第3回前期定例会において審議された議案の総件数は、知事提出議案が30件、委員会・議員提出議案が2件の計32件でした。

		9月21日提出	9月30日提出	10月12日提出	今期提出計	9月21日可決	9月30日可決	10月12日可決	11月1日可決	今期可決計	今期否決計
知事提出	予 算 案	2		1	3	1		2		3	
	条 例 案	5			5			5		5	
	同 意		1	15	16		1	15		16	
	認 定			※3	3				※3	3	
	承 認	1			1			1		1	
	その他の議案	1		1	2			1	1	2	
	小 計	9	1	20	30	1	1	24	4	30	
委員会・議員提出	条 例 案										
	会 議 規 則 案										
	専決処分の指定										
	意 見 書 案										
	決 議 案			1	1			1		1	
	要 望 書 案										
	その他の議案			1	1			1		1	
小 計			2	2			2		2		
合 計		9	1	22	32	1	1	26	4	32	

※決算の認定は「令和2年度群馬県一般会計歳入歳出決算」、「同特別会計歳入歳出決算」及び「同公営企業会計決算」の3件として計上。

❖❖❖❖❖❖ 第3回前期定例会議決事件概要及び結果 ❖❖❖❖❖❖

○知事提出議案

番号	件名	概要	討論	議決の態様
146	令和3年度群馬県一般会計補正予算（第11号）	歳入歳出増額 31,654,469千円 歳入歳出総額 891,806,597千円		全会一致 可決
147	令和3年度群馬県一般会計補正予算（第12号）	歳入歳出増額 17,432,072千円 歳入歳出総額 909,238,669千円 債務負担行為 追加1件 県債 変更2件	反対（共） 賛成（自、リ）	多数可決 （共反対）
148	群馬県行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例の一部を改正する条例	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴う改正等を行うもの	反対（共） 賛成（自、リ）	多数可決 （共反対）
149	群馬県個人情報保護条例の一部を改正する条例	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正等に伴うもの	賛成（自、リ）	全会一致 可決
150	群馬県安心子ども基金条例の一部を改正する条例	安心子ども基金の設置期間を延長しようとするもの	賛成（自、リ）	全会一致 可決
151	群馬県流域下水道の構造の基準及び終末処理場の維持管理に関する条例の一部を改正する条例	下水道法の改正に伴うもの	賛成（自、リ）	全会一致 可決
152	警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例の一部を改正する条例	群馬県高崎北警察署を設置しようとするもの	賛成（自、リ）	全会一致 可決
153	和解について	県央ワクチン接種センター設置に係る損失補償	賛成（自、リ）	全会一致 可決
承第5号	専決処分の承認について	令和3年度群馬県一般会計補正予算（第10号）	賛成（自、リ）	全会一致 承認

○令和3年9月30日追加提出議案

番号	件名	概要	討論	議決の態様
154	教育委員会委員の選任について	教育委員会委員武居朋子氏は、令和3年10月4日をもってその任期を満了するので、河添和子氏を後任者に選任する。		全会一致 同意

○令和3年10月12日追加提出議案

番号	件名	概要	討論	議決の態様
155	令和3年度群馬県一般会計補正予算(第13号)	歳入歳出増額 101,078千円 歳入歳出総額 909,339,747千円		全会一致 可決
156	公害審査会委員の選任について	長谷川文恵氏を令和3年11月1日をもって公害審査会委員に選任する。		全会一致 同意
157	公害審査会委員の選任について	辻仁美氏を令和3年11月1日をもって公害審査会委員に選任する。		全会一致 同意
158	公害審査会委員の選任について	織田直樹氏を令和3年11月1日をもって公害審査会委員に選任する。		全会一致 同意
159	公害審査会委員の選任について	幸田淑子氏を令和3年11月1日をもって公害審査会委員に選任する。		全会一致 同意
160	公害審査会委員の選任について	橋本由利子氏を令和3年11月1日をもって公害審査会委員に選任する。		全会一致 同意
161	公害審査会委員の選任について	松岡功氏を令和3年11月1日をもって公害審査会委員に選任する。		全会一致 同意
162	公害審査会委員の選任について	一戸真子氏を令和3年11月1日をもって公害審査会委員に選任する。		全会一致 同意
163	公害審査会委員の選任について	大澤真奈美氏を令和3年11月1日をもって公害審査会委員に選任する。		全会一致 同意
164	公害審査会委員の選任について	田中恒夫氏を令和3年11月1日をもって公害審査会委員に選任する。		全会一致 同意
165	公害審査会委員の選任について	西園大実氏を令和3年11月1日をもって公害審査会委員に選任する。		全会一致 同意
166	公害審査会委員の選任について	山口誉夫氏を令和3年11月1日をもって公害審査会委員に選任する。		全会一致 同意
167	公害審査会委員の選任について	板橋英之氏を令和3年11月1日をもって公害審査会委員に選任する。		全会一致 同意
168	公害審査会委員の選任について	宮里直樹氏を令和3年11月1日をもって公害審査会委員に選任する。		全会一致 同意
169	公害審査会委員の選任について	土倉泰氏を令和3年11月1日をもって公害審査会委員に選任する。		全会一致 同意
170	公害審査会委員の選任について	赤石紀子氏を令和3年11月1日をもって公害審査会委員に選任する。		全会一致 同意
	令和2年度群馬県一般会計歳入歳出決算の認定について	令和2年度群馬県一般会計決算	反対(共) 賛成(自)	多数認定 (共反対)

番号	件名	概要	討論	議決の態様
	令和2年度群馬県特別会計歳入歳出決算の認定について	令和2年度群馬県母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計決算	賛成（自）	全会一致 認 定
		令和2年度群馬県農業改良資金特別会計決算	賛成（自）	全会一致 認 定
		令和2年度群馬県県有模範林施設費特別会計決算	賛成（自）	全会一致 認 定
		令和2年度群馬県小規模企業者等設備導入資金助成費特別会計決算	賛成（自）	全会一致 認 定
		令和2年度群馬県用地先行取得特別会計決算	反対（共） 賛成（自）	多数認定 （共反対）
		令和2年度群馬県収入証紙特別会計決算	賛成（自）	全会一致 認 定
		令和2年度群馬県林業改善資金特別会計決算	賛成（自）	全会一致 認 定
		令和2年度群馬県公債管理特別会計決算	賛成（自）	全会一致 認 定
		令和2年度群馬県中小企業振興資金特別会計決算	賛成（自）	全会一致 認 定
		令和2年度群馬県新エネルギー特別会計決算	賛成（自）	全会一致 認 定
		令和2年度群馬県国民健康保険特別会計決算	賛成（自）	全会一致 認 定
	令和2年度群馬県公営企業会計決算の認定について	令和2年度群馬県流域下水道事業会計決算	反対（共） 賛成（自）	多数認定 （共反対）
		令和2年度群馬県電気事業会計決算	賛成（自）	全会一致 認 定
		令和2年度群馬県工業用水道事業会計決算	反対（共） 賛成（自）	多数認定 （共反対）
		令和2年度群馬県水道事業会計決算	反対（共） 賛成（自）	多数認定 （共反対）
		令和2年度群馬県団地造成事業会計決算	反対（共） 賛成（自）	多数認定 （共反対）
		令和2年度群馬県施設管理事業会計決算	賛成（自）	全会一致 認 定
		令和2年度群馬県病院事業会計決算	賛成（自）	全会一致 認 定
171	令和2年度群馬県電気事業会計剰余金の処分について	令和2年度群馬県電気事業会計未処分利益剰余金2,453,841,898円から群馬県公営企業の設置等に関する条例第12条第1項第2号並びに第2項第1号及び第2号の規定による処分額1,011,735,667円を控除した1,442,106,231円のうち、442,106,231円を建設改良積立金に、1,000,000,000円を別途積立金に積み立てる。	賛成（自）	全会一致 可 決

※自＝自由民主党、リ＝リベラル群馬、共＝日本共産党の略です。

◎令和3年第3回定例会 議決結果（知事提出議案 9/21議決分）

議案番号	件名	議決結果	賛成者数		反対者数		自由民主党	リベラル群馬	令明		公明党	日本共産党	裕心会	新時代	如水会
			表決者数	賛成者数	表決者数	反対者数			令明	令明					
146	令和3年度群馬県一般会計補正予算 (第11号)	可決	45	45	0	0	中沢 丈一 久保田 順一郎 星野 寛 岩井 均 狩野 浩志 橋爪 洋介 星名 建市 井田 泉 中島 篤 萩原 渉 岸 善一郎 井下 康夫 金井 泰伸 安孫子 哲 伊藤 清 大和 清 川野 達也 穂積 昌信 泉沢 信哉 今泉 健司 松本 基志 斎藤 優彦 森 昌彦 高井 俊二郎 相沢 崇文 神田 和生 亀山 貴史 秋山 健太郎 牛木 義	角倉 邦良 後藤 克巳 小川 晶 本郷 高明 加賀谷 富士子 八木 恭之	金子 渡 井田 泰彦 金沢 充隆 水野 俊雄 薬丸 隆	伊藤 祐司 酒井 宏明	大林 裕子	矢野 英司	入内 通隆		

◎令和3年第3回定例会 議決結果（知事提出議案 9/30議決分）

議案番号	件名	議決結果	賛成者数		反対者数		自由民主党	リベラル群馬	公明党		日本共産党	裕心会	新時代	如水会
			賛成者数	賛成者数	反対者数	反対者数			令明					
			45	45	0	0			45	0				
L54	教育委員会委員の選任について	同意	45	45	0	0	中沢丈一 久保田順一郎 星野寛 岩井均 狩野浩志 橋爪洋介 星名建市 井田泉 中島篤 萩原渉 岸善二郎 井下泰伸 金井康夫 安孫子哲 伊藤清典 大和達也 川野邊也 穂積昌信 泉沢信哉 今泉健司 松本基志 斎藤優彦 森昌彦 高井俊二 相沢崇文 神田和生 龜山貴史 秋山健太郎 牛木義	角倉邦良 後藤克巳 小川晶 本郷高明 加賀谷富士子 八木恭之	金子渡 井田泰彦 金沢充	伊藤祐司 酒井宏明	大林裕子	矢野英司	入内島隆	

◎令和3年第3回定例会 議決結果（知事提出議案 11/1 議決分）

議案番号	件名	議決結果	表決者数	賛成者数	反対者数	自由民主党	リベラル群馬	令明	公明党	日本共産党	裕新心会	如水会	
	令和2年度群馬県一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	44	42	2	中沢丈一 久保田順一郎 星野寛 岩井均 狩野浩志 橋爪洋介 星名建市 井田泉 中島篤 萩原涉 岸善一郎 井下泰伸 金井康夫 安藤子哲 伊藤清典 大和田達也 川野邊 徳種昌信 泉沢信哉 今泉健司 今松基志 斉藤優 森昌彦 高井俊一郎 相沢崇文 神田和生 亀山貴史 秋山健太郎 牛木義	後藤克己 小川晶 本郷高明 四賀登志子 八木田恭之	金子あべともよ 井田泰彦 金沢充隆	水野俊雄 丸山亮	伊藤祐司 酒井宏明	× ×	○ ○	○ ○
	令和2年度群馬県母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計決算	認定	44	44	0	中沢丈一 久保田順一郎 星野寛 岩井均 狩野浩志 橋爪洋介 星名建市 井田泉 中島篤 萩原涉 岸善一郎 井下泰伸 金井康夫 安藤子哲 伊藤清典 大和田達也 川野邊 徳種昌信 泉沢信哉 今泉健司 今松基志 斉藤優 森昌彦 高井俊一郎 相沢崇文 神田和生 亀山貴史 秋山健太郎 牛木義	後藤克己 小川晶 本郷高明 四賀登志子 八木田恭之	金子あべともよ 井田泰彦 金沢充隆	水野俊雄 丸山亮	伊藤祐司 酒井宏明	○ ○	○ ○	○ ○
	令和2年度群馬県農業改良資金特別会計決算	認定	44	44	0	中沢丈一 久保田順一郎 星野寛 岩井均 狩野浩志 橋爪洋介 星名建市 井田泉 中島篤 萩原涉 岸善一郎 井下泰伸 金井康夫 安藤子哲 伊藤清典 大和田達也 川野邊 徳種昌信 泉沢信哉 今泉健司 今松基志 斉藤優 森昌彦 高井俊一郎 相沢崇文 神田和生 亀山貴史 秋山健太郎 牛木義	後藤克己 小川晶 本郷高明 四賀登志子 八木田恭之	金子あべともよ 井田泰彦 金沢充隆	水野俊雄 丸山亮	伊藤祐司 酒井宏明	○ ○	○ ○	○ ○
	令和2年度群馬県国有模範林施設費特別会計決算	認定	44	44	0	中沢丈一 久保田順一郎 星野寛 岩井均 狩野浩志 橋爪洋介 星名建市 井田泉 中島篤 萩原涉 岸善一郎 井下泰伸 金井康夫 安藤子哲 伊藤清典 大和田達也 川野邊 徳種昌信 泉沢信哉 今泉健司 今松基志 斉藤優 森昌彦 高井俊一郎 相沢崇文 神田和生 亀山貴史 秋山健太郎 牛木義	後藤克己 小川晶 本郷高明 四賀登志子 八木田恭之	金子あべともよ 井田泰彦 金沢充隆	水野俊雄 丸山亮	伊藤祐司 酒井宏明	○ ○	○ ○	○ ○
	令和2年度群馬県小規模企業者等設備導入資金助成費特別会計決算	認定	44	44	0	中沢丈一 久保田順一郎 星野寛 岩井均 狩野浩志 橋爪洋介 星名建市 井田泉 中島篤 萩原涉 岸善一郎 井下泰伸 金井康夫 安藤子哲 伊藤清典 大和田達也 川野邊 徳種昌信 泉沢信哉 今泉健司 今松基志 斉藤優 森昌彦 高井俊一郎 相沢崇文 神田和生 亀山貴史 秋山健太郎 牛木義	後藤克己 小川晶 本郷高明 四賀登志子 八木田恭之	金子あべともよ 井田泰彦 金沢充隆	水野俊雄 丸山亮	伊藤祐司 酒井宏明	○ ○	○ ○	○ ○
	令和2年度群馬県用地先行取得特別会計決算	認定	44	42	2	中沢丈一 久保田順一郎 星野寛 岩井均 狩野浩志 橋爪洋介 星名建市 井田泉 中島篤 萩原涉 岸善一郎 井下泰伸 金井康夫 安藤子哲 伊藤清典 大和田達也 川野邊 徳種昌信 泉沢信哉 今泉健司 今松基志 斉藤優 森昌彦 高井俊一郎 相沢崇文 神田和生 亀山貴史 秋山健太郎 牛木義	後藤克己 小川晶 本郷高明 四賀登志子 八木田恭之	金子あべともよ 井田泰彦 金沢充隆	水野俊雄 丸山亮	伊藤祐司 酒井宏明	× ○	○ ○	○ ○
	令和2年度群馬県収入証紙特別会計決算	認定	44	44	0	中沢丈一 久保田順一郎 星野寛 岩井均 狩野浩志 橋爪洋介 星名建市 井田泉 中島篤 萩原涉 岸善一郎 井下泰伸 金井康夫 安藤子哲 伊藤清典 大和田達也 川野邊 徳種昌信 泉沢信哉 今泉健司 今松基志 斉藤優 森昌彦 高井俊一郎 相沢崇文 神田和生 亀山貴史 秋山健太郎 牛木義	後藤克己 小川晶 本郷高明 四賀登志子 八木田恭之	金子あべともよ 井田泰彦 金沢充隆	水野俊雄 丸山亮	伊藤祐司 酒井宏明	○ ○	○ ○	○ ○
	令和2年度群馬県林業改善資金特別会計決算	認定	44	44	0	中沢丈一 久保田順一郎 星野寛 岩井均 狩野浩志 橋爪洋介 星名建市 井田泉 中島篤 萩原涉 岸善一郎 井下泰伸 金井康夫 安藤子哲 伊藤清典 大和田達也 川野邊 徳種昌信 泉沢信哉 今泉健司 今松基志 斉藤優 森昌彦 高井俊一郎 相沢崇文 神田和生 亀山貴史 秋山健太郎 牛木義	後藤克己 小川晶 本郷高明 四賀登志子 八木田恭之	金子あべともよ 井田泰彦 金沢充隆	水野俊雄 丸山亮	伊藤祐司 酒井宏明	○ ○	○ ○	○ ○
	令和2年度群馬県公債管理特別会計決算	認定	44	44	0	中沢丈一 久保田順一郎 星野寛 岩井均 狩野浩志 橋爪洋介 星名建市 井田泉 中島篤 萩原涉 岸善一郎 井下泰伸 金井康夫 安藤子哲 伊藤清典 大和田達也 川野邊 徳種昌信 泉沢信哉 今泉健司 今松基志 斉藤優 森昌彦 高井俊一郎 相沢崇文 神田和生 亀山貴史 秋山健太郎 牛木義	後藤克己 小川晶 本郷高明 四賀登志子 八木田恭之	金子あべともよ 井田泰彦 金沢充隆	水野俊雄 丸山亮	伊藤祐司 酒井宏明	○ ○	○ ○	○ ○
	令和2年度群馬県中小企業振興資金特別会計決算	認定	44	44	0	中沢丈一 久保田順一郎 星野寛 岩井均 狩野浩志 橋爪洋介 星名建市 井田泉 中島篤 萩原涉 岸善一郎 井下泰伸 金井康夫 安藤子哲 伊藤清典 大和田達也 川野邊 徳種昌信 泉沢信哉 今泉健司 今松基志 斉藤優 森昌彦 高井俊一郎 相沢崇文 神田和生 亀山貴史 秋山健太郎 牛木義	後藤克己 小川晶 本郷高明 四賀登志子 八木田恭之	金子あべともよ 井田泰彦 金沢充隆	水野俊雄 丸山亮	伊藤祐司 酒井宏明	○ ○	○ ○	○ ○
	令和2年度群馬県新エネルギー特別会計決算	認定	44	44	0	中沢丈一 久保田順一郎 星野寛 岩井均 狩野浩志 橋爪洋介 星名建市 井田泉 中島篤 萩原涉 岸善一郎 井下泰伸 金井康夫 安藤子哲 伊藤清典 大和田達也 川野邊 徳種昌信 泉沢信哉 今泉健司 今松基志 斉藤優 森昌彦 高井俊一郎 相沢崇文 神田和生 亀山貴史 秋山健太郎 牛木義	後藤克己 小川晶 本郷高明 四賀登志子 八木田恭之	金子あべともよ 井田泰彦 金沢充隆	水野俊雄 丸山亮	伊藤祐司 酒井宏明	○ ○	○ ○	○ ○
	令和2年度群馬県国民健康保険特別会計決算	認定	44	44	0	中沢丈一 久保田順一郎 星野寛 岩井均 狩野浩志 橋爪洋介 星名建市 井田泉 中島篤 萩原涉 岸善一郎 井下泰伸 金井康夫 安藤子哲 伊藤清典 大和田達也 川野邊 徳種昌信 泉沢信哉 今泉健司 今松基志 斉藤優 森昌彦 高井俊一郎 相沢崇文 神田和生 亀山貴史 秋山健太郎 牛木義	後藤克己 小川晶 本郷高明 四賀登志子 八木田恭之	金子あべともよ 井田泰彦 金沢充隆	水野俊雄 丸山亮	伊藤祐司 酒井宏明	○ ○	○ ○	○ ○
	令和2年度群馬県流域下水道事業会計決算	認定	44	42	2	中沢丈一 久保田順一郎 星野寛 岩井均 狩野浩志 橋爪洋介 星名建市 井田泉 中島篤 萩原涉 岸善一郎 井下泰伸 金井康夫 安藤子哲 伊藤清典 大和田達也 川野邊 徳種昌信 泉沢信哉 今泉健司 今松基志 斉藤優 森昌彦 高井俊一郎 相沢崇文 神田和生 亀山貴史 秋山健太郎 牛木義	後藤克己 小川晶 本郷高明 四賀登志子 八木田恭之	金子あべともよ 井田泰彦 金沢充隆	水野俊雄 丸山亮	伊藤祐司 酒井宏明	× ○	○ ○	○ ○
	令和2年度群馬県電気事業会計決算	認定	44	44	0	中沢丈一 久保田順一郎 星野寛 岩井均 狩野浩志 橋爪洋介 星名建市 井田泉 中島篤 萩原涉 岸善一郎 井下泰伸 金井康夫 安藤子哲 伊藤清典 大和田達也 川野邊 徳種昌信 泉沢信哉 今泉健司 今松基志 斉藤優 森昌彦 高井俊一郎 相沢崇文 神田和生 亀山貴史 秋山健太郎 牛木義	後藤克己 小川晶 本郷高明 四賀登志子 八木田恭之	金子あべともよ 井田泰彦 金沢充隆	水野俊雄 丸山亮	伊藤祐司 酒井宏明	○ ○	○ ○	○ ○

○委員会提出議案

○10月12日提出

番号	件名	提出委員会・発議者	討論	議決の態様
議11	第147号議案「令和3年度群馬県一般会計補正予算（第12号）」に係る附帯決議	産経土木常任委員会		全会一致 可決
議12	特別委員会の設置について	議会運営委員会		全会一致 可決

可決された委員会提出議案

議第11号議案

第147号議案 「令和3年度群馬県一般会計補正予算（第12号）」 に係る附帯決議

「令和3年度群馬県一般会計補正予算（第12号）」に計上されている、ぐんまワクチン手帳を活用し実施する「ぐんま GoToEat ワクチンプレミアム」及び「愛郷ぐんまプロジェクト第3弾」は、低迷する飲食業・観光業に関する需要を喚起し、経済活動再開の推進力になるものと大きく期待をしているところであるが、事業の実施については、下記のとおり要望する。

記

- 1 アレルギー等の理由によりワクチン接種ができない方やデジタル機器の利用が難しい方もいるため、不公平や差別が生じないように十分配慮すること。
- 2 ストップコロナ！対策認定制度をさらに促進し、感染防止対策を強化すること。
- 3 事業実施の時期については、感染状況をよく見極め、適切に実施すること。
- 4 制度、事業の内容について、県民誰もがわかるよう周知するとともに、ワクチン接種ができない方への心理的負担を与えないよう、十分に配慮すること。

以上、決議する。

令和3年10月12日

群馬県議会

議第12号議案

特別委員会の設置について

- 1 委員会名称 決算特別委員会
- 2 委 員 全議員（議長、副議長及び監査委員を除く）
- 3 設置目的 一般会計、特別会計、公営企業会計の令和2年度決算等について審査を行うため
- 4 付議事件 令和2年度の群馬県一般会計歳入歳出決算、同特別会計歳入歳出決算、同公営企業会計決算の認定に関すること
令和2年度群馬県電気事業会計剰余金の処分に関すること

請願の委員会別審査状況

○総務企画常任委員会

番 号	件 名	区 分			意 見
		採 択	不 採 択	継 続	
19	「国民投票法改正案は徹底審議を尽くし、採決強行を行わないこと」を求める意見書採択についての請願		○		実施困難 (多数をもって決定)
20	地方財政の充実・強化を求める請願 (趣旨)	○			願意妥当 結果の報告を求める
21	マイナンバー制度の中止・廃止を求める請願		○		実施困難 (多数をもって決定)
22	「消費税率を5%に引き下げ、複数税率・インボイス制度廃止を求める意見書」提出を求める請願		○		” ”

○環境農林常任委員会

番 号	件 名	区 分			意 見
		採 択	不 採 択	継 続	
15	(国)指定野菜価格安定対策事業に係る交付予約数量引き上げについての請願 (趣旨)	○			願意妥当 結果の報告を求める

○産経土木常任委員会

番 号	件 名	区 分			意 見
		採 択	不 採 択	継 続	
29	利根沼田地域の経済対策についての請願 (趣旨)	○			願意妥当 結果の報告を求める

委 員 会 委 員 名 簿

(令和3年11月1日現在)

委員会名	委員長	副委員長	委 員
総務企画常任委員会 (10人)	穂積昌信(自)	亀山貴史(自)	久保田順一郎(自) 伊藤祐司(共) 後藤克己(リ) 岸善一郎(自) 安孫子哲(自) 斉藤優(自) 大林裕子(裕) (欠員1名)
健康福祉常任委員会 (10人)	泉沢信哉(自)	秋山健太郎(自)	星名建市(自) 井下泰伸(自) 酒井宏明(共) 金子渡(令) 薬丸潔(公) 本郷高明(リ) 森昌彦(自) (欠員1名)
環境農林常任委員会 (10人)	今泉健司(自)	牛木義(自)	星野寛(自) 狩野浩志(自) 小川晶(リ) 井田泰彦(令) 矢野英司(新) 相沢崇文(自) (欠員2名)
産経土木常任委員会 (10人)	大和勲(自)	松本基志(自)	岩井均(自) 水野俊雄(公) 萩原涉(自) 川野辺達也(自) 八木田恭之(リ) 入内島道隆(如) 高井俊一郎(自) 金沢充隆(令)
文教警察常任委員会 (10人)	伊藤清(自)	神田和生(自)	中沢丈一(自) 橋爪洋介(自) 中島篤(自) あべともよ(令) 金井康夫(自) 加賀谷富士子(リ) (欠員2名)
議会運営委員会 (13人)	萩原涉(自)	泉沢信哉(自)	中沢丈一(自) 星名建市(自) 後藤克己(リ) 中島篤(自) 金井康夫(自) 小川晶(リ) 大和勲(自) 川野辺達也(自) 穂積昌信(自) 井田泰彦(令) 今泉健司(自)
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 (12人)	星野寛(自)	中島篤(自)	狩野浩志(自) 橋爪洋介(自) 水野俊雄(公) あべともよ(令) 酒井宏明(共) 松本基志(自) 八木田恭之(リ) 秋山健太郎(自) 牛木義(自) (欠員1名)
デジタルトランスフォーメーションに関する特別委員会 (11人)	久保田順一郎(自)	金井康夫(自)	星名建市(自) 伊藤祐司(共) 井下泰伸(自) 薬丸潔(公) 小川晶(リ) 斉藤優(自) 相沢崇文(自) 金沢充隆(令) 亀山貴史(自)
脱炭素社会・新エネルギーに関する特別委員会 (11人)	中沢丈一(自)	大和勲(自)	後藤克己(リ) 萩原涉(自) 金子渡(令) 伊藤清(自) 本郷高明(リ) 泉沢信哉(自) 矢野英司(新) 神田和生(自) (欠員1名)
地方創生・ブランドに関する特別委員会 (11人)	岩井均(自)	川野辺達也(自)	岸善一郎(自) 穂積昌信(自) 井田泰彦(令) 加賀谷富士子(リ) 今泉健司(自) 大林裕子(裕) 森昌彦(自) 入内島道隆(如) 高井俊一郎(自)
図書広報委員会 (10人)	橋爪洋介(自)	斉藤優(自)	あべともよ(令) 酒井宏明(共) 薬丸潔(公) 本郷高明(リ) 相沢崇文(自) 神田和生(自) 亀山貴史(自) 秋山健太郎(自)
基本条例推進委員会 (12人)	狩野浩志(自)	伊藤清(自)	星名建市(自) 中島篤(自) 金井康夫(自) 川野辺達也(自) 加賀谷富士子(リ) 泉沢信哉(自) 八木田恭之(リ) 神田和生(自) 金沢充隆(令) 亀山貴史(自)

※(自)は自由民主党、(リ)はリベラル群馬、(令)は令明、(公)は公明党、(共)は日本共産党、(裕)は裕心会、(新)は新時代、(如)は如水会を表します。

※委員会名欄の()内の数字は、定数を表します。

議 席 一 覧 表

(令和3年11月1日現在)

E 列

1	2

狩 野 浩 志	岩 井 均	星 野 寛	久 保 田 順 一 郎	中 沢 丈 一
3	4	5	6	7

8	9

D 列

			萩 原 渉
1	2	3	4

中 島 篤	井 田 泉	星 名 建 市	橋 爪 洋 介	水 野 俊 雄
5	6	7	8	9

あ べ と も よ	後 藤 克 己		伊 藤 祐 司
10	11	12	13

C 列

		穂 積 昌 信	川 野 辺 達 也	大 和 勲
1	2	3	4	5

安 孫 子 哲	金 井 康 夫	井 下 泰 伸	岸 善 一 郎	薬 丸 潔
6	7	8	9	10

金 子 渡	小 川 晶	酒 井 宏 明		
11	12	13	14	15

B 列

			高 井 俊 一 郎	森 昌 彦
1	2	3	4	5

斉 藤 優	松 本 基 志	今 泉 健 司	泉 沢 信 哉	伊 藤 清
6	7	8	9	10

井 田 泰 彦	加 賀 谷 富 士 子	本 郷 高 明		
11	12	13	14	15

A 列

		牛 木 義	秋 山 健 太 郎
1	2	3	4

亀 山 貴 史	神 田 和 生	相 沢 崇 文	矢 野 英 司	入 内 島 道 隆
5	6	7	8	9

大 林 裕 子	金 沢 充 隆	八 木 田 恭 之	
10	11	12	13

演 壇

※質疑及び一般質問日（9月27日、28日、30日）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、議員が1席ずつ間隔を空けて座るとともに、2班に分け、午前と午後とで交互に議場に入った。

委員会活動

県内調査（オンライン調査）

環境農林常任委員会

- | | | | |
|--------|--|------------|---|
| 1 期 日 | 令和3年8月26日(木) | (1) 概要説明 | |
| 2 開催場所 | ◎群馬県議事堂 4階403委員会室
(オンライン調査を実施) | ア 説明会場 | 小井土製材株式会社の事務所内からオンラインにより説明 |
| 3 出席委員 | 今泉委員長、牛木副委員長（オンライン参加）、星野、狩野、小川、井田（泰）、矢野、相沢の各委員 | イ 説明者及び出席者 | 代表取締役社長（オンライン参加）
(県側出席者)
環境森林部長、森林局長、林業振興課長、富岡森林事務所長（オンライン参加） |
| 4 実施方法 | 例年8月に県内調査を実施してきたが、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の本県への適用に伴い、感染拡大防止の観点から、403委員会室においてオンラインを活用して、調査を実施した。 | ウ 説明内容 | ・ウッドショックの現状等について |

5 調査の概要

◎小井土製材株式会社（下仁田町）

群馬県産の木材は、県内の製材加工体制整備の遅れ、製材工場数の減少により、県内消費が停滞している状況で、各製材工場ごとの強みを生かした加工体制の強化や新たな販路の拡大が課題となっている。

そんな中、小井土製材株式会社にあっては、自社工場内にて製材・乾燥、品質管理をシステム化することで、制度・品質の均一化を図ると同時に、JAS等の認定取得や海外への輸出を行うなどして、加工体制の強化や販路の拡大を図っている。

また、ぐんま優良木材品質認証センターから認証を受けたぐんま優良木材認証工場として、群馬県内産の素材丸太を原材料とした、ぐんま優良木材も生産している。

については、林業振興対策の観点から、小井土製材株式会社の事業や取組について調査を行った。

(2) 視察の状況



オンラインでの概要説明の様子



現地の様子



オンライン調査の様子

【主な質疑】

問：原木の供給はどうか。

答：小井土製材株式会社では、例年秋から冬にかけて木が水を上げない時期に伐採した木を買い集めていたため、今回のウッドショックにはタイミングよく供給できた。6、7月は原木の伐採が少ない時期だが、今回のウッドショックの影響で切り出している業者もいる。

問：ぐんまゼロ宣言住宅促進事業についての感想はどうか。

答：ハードルが高く使いづらい部分がある。ゼロ宣言住宅のポイントは太陽光発電であり、太陽光発電を扱わない工務店には厳しい政策である。現時点で4棟しか完了していないと聞いている。以前の政策のときには、年間何百棟という実績があった。見直しをしていただければと感じている。

問：価格の見通しについて、「価格は高値安定」との説明があったが、価格が上がれば新築は減るのではないか。一軒建てるとするとこれまでと比較してどの位高くなると考えているか。

答：例えば、建坪30坪の住宅の場合、これまでは200万円であったのが300万円（+100万円）になると考えている。

問：ウッドショックが契機となっているものの、木材が外国産材から県産材・国産材にシフトしていることはよい傾向にある。しかし、このまま高値安定が続くと、外国産材が安くなったとき

に、また県産材・国産材の需要が減るのではないか。今こそ県産材・国産材に価格競争力と共に新たな価値を戦略的に検討するべきではないか。

答：ウッドショックは今がピークと考えている。価格は以前と現在の間がよいと考えており、安定感を出していきたい。今回のことを契機に大手メーカーも外国産材から国産材へシフトする動きにある。

※このほか、適宜各委員から質問を行った。

【所感・意見・感想など】

○牛木副委員長

小井土製材株式会社に御協力いただき、世界が直面するウッドショックについてお話をいただいた。JAS 認証を取得していることや海外への2×4材の輸出を強みとしている会社ということもあり、業界が直面している課題について詳しくお話を聞くことができた。

コロナにより、北米での郊外への住宅建設ラッシュをきっかけに始まったウッドショックだが、木材価格が低迷していて縮小傾向にあった業界は急な需要に対応できず、国内での住宅建設にも大きな影響を与えている。一般的な住宅においては、木材価格の上昇により1棟当たり100万円前後の負担増があるということで、これから家を建てようとしている方には大変な負担であるが、一方で単価が安すぎて森林の整備ができない状況にあった業界には、明るい兆しともいえる。このウッドショックをチャンスに変えられるよう県として必要な支援を行い、これからも業界発展に向けて取り組んでいきたいと思う。

○相沢委員

今回の月いち委員会はオンラインでの視察となったが、視察先の小井土製材株式会社の小井土社長には、絶大なる御協力をいただき心から感謝申し上げます。また、現場で起きている生の声をお聞かせいた

だきウッドショックを真正面から捉えることができた。

これから県産材がより一層の競争力を持ち、高品質で安定した価格で市場に投入され長期にわたり多くの県産材が供給できるよう、私たちも一丸となって取り組まなければならない。また、群馬県には、ゼロ宣言住宅などの政策の課題についても現場の声として上げていただいた。このことをしっかりと受け止め改善に向けて取り組んでいただきたい。

結びに、今回の実り多い視察を実現できたのは、今泉委員長及び牛木副委員長のオンライン委員会を実現するという決断力と熱意の賜物^{たまもの}であり心から感謝申し上げる。

今回のオンライン委員会では委員会としての機動力や現場の重要性を改めて認識することができた。これからも委員会が一丸となって県民の負託に応え、暮らしを守り地域を支えるべく活動してまいります。

産経土木常任委員会

- 1 期 日 令和3年8月26日(木)
- 2 開催場所 ◎群馬県議事堂3階301委員会室
(オンライン調査を実施)
- 3 出席委員 大和委員長、松本副委員長、岩井、水野、萩原、川野辺、八木田、入内島、高井、金沢の各委員
- 4 実施方法

例年8月に県内調査を実施してきたが、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の本県への適用に伴い、感染拡大防止の観点から、301委員会室において執行部から説明を受け、調査を実施した。

なお、調査項目「前橋長瀬線拡幅工事の進捗状況」については、オンラインを活用して、現地の様子を高崎土木事務所の職員が撮影し、委員会室のディスプレイを通してリモート解説した。

5 調査の概要

◎前橋長瀬線拡幅工事の進捗状況（高崎市）

県道前橋長瀬線のうち、高崎市綿貫町から高崎市岩鼻町間の2.0kmについて、慢性的な渋滞の解消による都市間連携の強化、産業の発展と観光振興を図るとともに、歩行者・自転車通行空間の整備を行い、安全な通行を確保することを目的として、現況2車線道路を4車線へ拡幅する工事が行われている。

については、拡幅工事の進捗状況について調査を

行った。

◎令和元年台風第19号災害復旧工事の進捗状況

(県内11土木事務所)

令和元年台風第19号では、西毛地域、吾妻地域を中心に甚大な被害をもたらした。道路・河川などの公共土木施設災害は450カ所にのぼり、令和元年度末から復旧工事に着手し、3年度末の完了を目標に工事を進めている。

については、復旧工事の進捗状況について調査を行った。

(1) 概要説明

ア 説明会場

- ・301委員会室
- ・前橋長瀬線拡幅工事の進捗状況については現場からオンラインにより説明

イ 説明者及び出席者

(301委員会室)

県土整備部長、建設企画課長、道路整備課長、道路管理課長、都市計画課長、砂防課長、水害対策室長

(前橋長瀬線拡幅工事現場からオンライン参加)

高崎土木事務所長、高崎土木事務所副所長
ウ 説明内容

- ・前橋長瀬線は、前橋市と高崎市、藤岡市を接続し、県南部を南北に連絡する主要幹線道路であるが、そのうち、綿貫町交差点を中心に発生している渋滞の解消と、歩行者の安全確保を目的に、東毛広域幹線道路の綿貫町北交差点から、烏川までの延長約2kmの4車線化と歩道の拡幅をする工事である。令和2年度末の進捗率は、道路工区は約85%、路工区は約79%となっている。今年度の事業予定は、道路工区については、令和2年12月に綿貫町北交差点から0.3km間の4車線供用を開始したが、残る0.4km間の道路改良工事や水道移設を進める。また、街路工区は、綿貫町交差点から綿貫町南交差点までの0.3km間を優先区間として、道路改良工事、文化財調査、電柱移設を進める予定。
- ・ドローンによる空撮動画により、当該工区を、綿貫町北交差点から南下しながら、工事の進捗状況や周辺地域の概況について説明。

(2) 視察の状況



現場からオンラインで説明を受ける様子



現場からの説明の様子



ドローンで撮影した動画を見る様子

【主な質疑】

- 問：吾妻で甚大な被害があったが、特に被害が大きかった鳴岩橋や田代は、川の本流と支流がぶつかる箇所である。その辺りの分析状況と対策をどのように行っているか。
- 答：河川の合流部は水の堰上げや流木の溜まりが多いことを確認した。国の査定により、合流部は護岸を高くして施工する対策を行っている。
- 問：国の TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）と県の連携・協力状況はどのようなものだったか。
- 答：TEC-FORCE は市町村に対する技術支援をメインに行われた。市町村は技術職員も少なく対応に苦慮していたが、TEC-FORCE は迅速に現場に入って測量し、被災の全容把握と査定・設計の仕込みまでしてもらえた。力強い支援で県としても感謝している。
- 問：TEC-FORCE の支援は、例えば激甚災害の指定などの基準があるのか。
- 答：県からの要請の有無にかかわらず、プッシュ型

の支援であり、国の判断で被災直後からすぐに来てくれた。

問：今後も大きな災害がないとも限らない。国と県との協調関係が必要だと思うが、どう取り組んでいくか。

答：市町村の意向も確認しつつ、国・県・市町村で連携して効果的な取組を検討していく。今回の経験を生かして、しっかりと対応していきたい。

問：令和2年度の被害に係る復旧工事の完了見込みはどうか。事務所間で技術職員の偏在という課題もあると聞いている。かなりのボリュームの発注であり、職員の体制等の対応状況はどうか。

答：令和2年度の被害も台風19号の復旧工事と同じく、今年度末までの完了を目指して工事を進めている。職員の体制については、被災直後から柔軟な職員配置が可能となるよう、人事課等とも調整して対応している。

問：県土整備プランでは堤防^{かさ}上げや内水氾濫被害があった箇所工事など、3か年の災害レジリエンスとして計画されているが、進捗状況はどうか。

答：堤防^{かさ}上げについては設計中の箇所もあるが、3年間を目標に、長くなっても5年以内に完了するよう進めている。

問：河川監視の動画カメラを増やしていく計画はあるか。河川監視カメラは非常に有効であるので、県民への周知を進めてもらいたい。

答：視聴数や減災対策協議会の要望等を踏まえ、静止画と動画をうまく使い分けながら、動画カメラの設置を増やしていきたい。

※このほか、適宜各委員から質問を行った。

【所感・意見・感想など】

○高井委員

8月26日の産経土木常任委員会は管内視察の予定であったが、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言下により急遽^{きょ}、委員会室にて試用中のタブレット端末を使ったペーパーレス委員会及びオンラインでの調査が行われた。

オンライン調査では、県道前橋長瀬線の高崎市「群馬の森」付近の工事現場をドローンで撮影した動画や、高崎土木事務所の方が撮影した現地の映像を確認しながら調査を実施した。

現地に赴いての調査は基本であるが、ドローンによる道路付近及び全体像の把握や現場でのオンラインによるやり取りは、今後必ず会議の質を高めることに寄与すると確信が持てた。

現在、山本知事は積極的に県庁内のDXを推進している。県議会としても前向きにIT化に取り組んでいかなくてはいけない。その第一歩となる委員会となった。

○萩原委員

台風19号は県内各地に甚大な被害をもたらした。私自身、全県の被害状況をくまなく見てきたが、中之条土木事務所管内の嬭恋村・長野原町の被災状況は目を疑うほどの状況であった。

この災害現場には国のTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）がいち早く現場に駆けつけ被害調査を行った。

今後も温暖化の影響で、地震、水害、土砂崩れ等の大災害への、被害自治体の迅速な被害状況の把握と対応のために、地元市町村と県と国が連携する必要がある。

本委員会で清水部長は、これらの復旧を今年度内に完了する目標で取り組むことを言及された。大変ありがたい関係者の尽力に感謝し、安全な工事を祈念する。

決算特別委員会分科会現地調査

総務企画分科会



館林美術館館内

- 1 期 日 令和3年10月15日(金)
- 2 調査場所 ◎県立館林美術館（館林市）
- 3 出席委員 穂積主査、亀山副主査、久保田、
後藤、斉藤、大林の各委員

4 調査の概要

◎県立館林美術館（館林市）

県立館林美術館は、県立近代美術館（高崎市内）から遠隔地に当たる県東部に位置し、より多くの県民の方々に美術作品鑑賞の機会を提供することを目的に、平成13年10月26日に県内で2館目の県立美術館として開館した。

令和2年度は、「10のテーマでアートをつなぐ」ほか全4回の企画展を開催するとともに、学校との連携事業等を実施した。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大では、一時休館等の影響を受けた。

については、令和2年度決算に係る審査の参考とするため、現地調査を行った。

(1) 概要説明

- ア 説明会場
県立館林美術館講堂
- イ 説明者及び出席者
地域創生部長、文化振興課長、館林美術館特別館長、館林美術館館長
- ウ 説明内容
- ・館林美術館の概要について
資料「館林美術館の概要」により、施設概要、令和2年度の実績、管理運営状況及び新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等を説明。
 - ・館林美術館作品購入について
資料「館林美術館作品購入について」により、館林美術館が購入した「みやまですんけい深山寺参詣ず圖」（作者：山口晃）について説明。



概要説明の様子

(2) 視察の状況



館内見学の様子（展示室）



館内見学の様子（別館）

【主な質疑】

問：館林美術館のコレクションの活用状況はどうか。

答：最近、コレクションの展示機会が増えている。今年度について、春の展覧会は、全ての展示をコレクションから紹介した。今回は、一部現代作家を呼んでいるが、ほかはコレクションである。同じ作品が展示され、観覧者が同じ作品を何回も見たとということにならないようにす

ることが課題と思っている。

問：芸術文化の分野において、東毛地域は栃木県（足利市）に比べ遅れていると以前から聞いている。どのように考えているか。

答：足利市には足利学校等、古いものが残っており、有名な日本画家もいる。並ぶのは大変なことであるが、視点を変えて、最近の作家を取り入れ、広く楽しんでもらうことは可能と思う。また、地元出身の画家もいる。広く興味を引くもの、土地ならではのものを織り交ぜながら、バランスよく展覧会を開催することが、これからの在り方ではないかと考えている。

問：観覧者の県内、県外の割合はどうか。

答：現在の状況は、おおむね県内が4～5割である。県外からの観覧者は、埼玉県、栃木県が多く、次に東京都である。ほぼ関東近県から来館している。コロナ以前は、アンケートに対する回答になるが、県外から5割程度来館している。県外の方が多く来館しているが、館林市は、県境が近く、エリアで見ると近隣地域の方が来館している。

※このほか、適宜各委員から質問を行った。

【所感・意見・感想など】

○齊藤委員

群馬県立館林美術館は平成13年10月、2館目の県立美術館として開館。年間4回の企画展示と企画展に併せてコレクション展示を行っている。また、別館ではフランソワ・ポンポンの資料の展示を行っている。開館から令和2年度までの19年間の通算観覧者数は847,898人で、年平均42,395人となっている。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態措置により4月17日から休館することとなったため、4月18日から開催を予定していた「10のテーマでアートをつなぐ」展が、翌5月26日からの開催となった。

教育普及事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のための影響がより大きく、数多くの事業が中止せ

ざるを得なくなり、実施できた事業も感染防止対策を講じた上で、人数を制限しての実施となった。

○大林委員

館林美術館は、平成13年10月に開館し、間もなく20周年を迎える。県内2館目の県立美術館として、高崎市にある近代美術館から遠隔地に当たる県東部に建てられた。地理的な要因もあり、入場者は、県内は4～5割で、埼玉・栃木県から多く来ているという。

市が管理しているという広大な芝生の中に建ち、素晴らしい佇まいにまず感動した。恥ずかしながら、北毛地域に住むものにとっては、やはり館林は遠く訪ねる機会がなかった。館内も明るく、面白い展示物が多かった印象である。

今回、県が購入した山口晃氏の作品「^{みやま}深山寺参詣^ず圖」を鑑賞した。様式の異なる建築物、そこに往来する侍や商人という昔の人と現代人を織り交ぜてユーモラスに描いている。細やかさと大胆さをもった作品と感じた。県内のみならず県外の多くの方に見ていただきたい。そのためには、全国に周知してもらえるような工夫が必要かと思う。

また、美術館には、企画展示のほかに教育普及事業の役割があるが、学校授業との連携にぜひ力を入れてもらいたいと思う。小学校高学年になると、やはり専門的な技法も必要になるし、子ども達の要求もある。そのような美術的な能力をエンパワーメントしていただきたい。

産経土木分科会



お宿玉樹

- | | | |
|--------|--|--|
| 1 期 日 | 令和3年10月18日(月) | (吾妻郡東吾妻町) |
| 2 調査場所 | ◎ Park-PFI スターバックスコ
ヒー敷島公園店 (前橋市)
◎上信自動車道金井IC～箱島IC | ◎伊香保温泉「古久家」「お宿玉
樹」(渋川市)
◎県央第一水道事務所(北群馬郡) |

榛東村)

◎県道南新井前橋線バイパス2期
工区(北群馬郡吉岡町)

- 3 出席委員 大和主査、松本副主査、岩井、
水野、萩原、川野辺、八木田、
入内島、高井、金沢の各委員

4 調査の概要

◎Park-PFI スターバックスコーヒー敷島公園店
(前橋市)

公園利用者の利便性向上に資する収益施設の設置
管理と当該施設から生じる収益を活用して、園路等
の整備・改修等を一体的に行う民間事業者を公募で
選定する Park-PFI(公募設置管理制度)により、
令和2年3月にスターバックスコーヒー敷島公園
店が正田^{しょうゆ}醤油スタジアム群馬南側の第一駐車場に
オープンした。

については、オープン後の利用状況や事業効果につ
いて、令和2年度決算審査の参考にするために調査
を行った。

(1) 概要説明

- ア 説明会場
バス車内
- イ 説明者及び出席者
都市計画課長
(県側出席者)
県土整備部長、道路整備課長
- ウ 説明内容
敷島公園への制度導入の目的、事業概要、事
業成果について

【主な質疑】

問：Park-PFI 制度の第一例目にこの場所を選定し
た理由は。

答：県立敷島公園は陸上競技場や野球場などがあ
り、多くの利用実績を誇る県内随一の運動公園
である。公園利用者アンケートではカフェ等の
ニーズが多く、Park-PFI 導入検討時にさまざ

まな業種の事業者からヒアリングを行ったところ、
全ての飲食店事業者から参画意向があった
こと等から、この場所となった。

問：認定有効期間の20年を過ぎた後はどうなるの
か。

答：契約上は20年超過後の継続を妨げてはいない
が、20年経つ頃には建物の老朽化などの課題も
出ているかもしれない。その時の状況で検討、
協議していくことになる。

問：県内のほかの場所でもこの制度を活用した事例
はあるか。

答：観音山ファミリーパークで、令和3年1月にカ
フェがオープンした。

※このほか、適宜各委員から質問を行った。

◎上信自動車道 金井 IC ~ 箱島 IC

(吾妻郡東吾妻町)

上信自動車道は、群馬県渋川市の関越自動車道・
渋川伊香保 IC 付近から鳥居峠付近を經由し、長野
県側の上信自動車道へ至る延長約80kmの地域高規格
道路であり、そのうち金井 IC から箱島 IC までの約
7.2kmが令和2年6月に開通した。

については、安全・安心の向上や交通混雑の緩和等
の整備効果について、令和2年度決算審査の参考に
するために調査を行った。

(1) 概要説明

- ア 説明会場
上信自動車道岡崎 IC 付近現場
- イ 説明者及び出席者
上信自動車道建設事務所長
(県側出席者)
県土整備部長、道路整備課長、都市計画課長
- ウ 説明内容
事業概要、事業目的、整備状況について

(2) 視察の状況



上信自動車道の概要説明の様子



視察の様子

【主な質疑】

問：山間部の道路は大雨時に通行止めになることがあるが、上信自動車道が完成した場合はどうか。

答：現道の雨量による規制区間が無くなるわけではないが、上信自動車道については、雨量による通行規制が必要となるような危険箇所はない。

※このほか、適宜各委員から質問を行った。

◎伊香保温泉「古久家」・「お宿玉樹」（渋川市）

伊香保温泉は古くから名湯として知られ、最近では都心からのアクセスの良さと、情緒と文化性の高い温泉地として、多くの旅行者に支持されてきた。新型コロナウイルス感染症の対策としては、ガイドラインの順守とともに独自のマニュアルを策定し、地域一丸となって最大限の感染予防対策に取り組んでいる。

については、コロナ禍での各宿泊施設の取組等について、令和2年度決算審査の参考にするために調査

を行った。

(1) 概要説明

ア 説明会場

古久家、お宿玉樹

イ 説明者及び出席者

株式会社古久家旅館 代表取締役

有限会社玉樹 代表取締役

(県側出席者)

産業経済部長、観光魅力創出課長、県土整備部長、道路整備課長

ウ 説明内容

コロナ対策の状況、伊香保温泉の現状と課題、今後の展望について

(2) 視察の状況



概要説明の様子（古久家にて）



概要説明の様子（お宿玉樹にて）

【主な質疑】

問：ビジネス特化型宿泊施設はどのような層をターゲットにしているのか。温泉地に来る目的の一

つは温泉だと思うが、ビジネス特化型施設の風呂はどう対応しているのか。

答：ワーケーションなどの長期滞在をターゲットに考えている。食事は提供せず、伊香保の街に出て食事をしてもらうことで街全体に波及効果がある。ステイビューいかほでは白銀の湯を引いた風呂付きの部屋が3室ある。風呂なしの部屋の客は、玉樹の大浴場が利用できる。

問：榛名湖の活用について、行政区が違うことではなかろうまいかないようだがどうか。

答：商工会青年部の活動などでは連携しており、エリアの観光資源をつなげて生かしていければ非常に有意義だと思っているが、行政区が違うために難しいのが現状。

問：伊香保スケートリンクの活用について、地元としてはどう考えるか。

答：地元としては非常に愛着もあり、ロープウエーも含めて、大いに使える資源だと思う。しかし規制が多くて活用できず、残念に思っている。イベントなどで活用したいと思っても、規制で飲食を売れないのでは人は集まらない。

※このほか、適宜各委員から質問を行った。

◎県央第一水道事務所（北群馬郡榛東村）

県央第一水道は、群馬県榛東村の群馬用水榛名幹線から取水し、県央地区（2市1町1村）へ、1日最大160,000m³の水道用水を供給している。新たな水源の確保や設備投資には多額の資金が必要となり、市町村ごとに設備を整備することは困難なため、県央第一水道では一括して浄水処理を行って送水することにより、効率の良い水道を目指している。

については、事業効果向上に向けた取組等について、令和2年度決算審査の参考にするために調査を行った。

(1) 概要説明

ア 説明会場

場内の原水調整地、浄水処理施設等

イ 説明者及び出席者

県央第一水道事務所長

（県側出席者）

県土整備部長、道路整備課長、企業管理者、企業局技監（水道課長）

ウ 説明内容

水道用水供給事業の概要、事業効果、リニューアル工事について

(2) 視察の状況



概要説明の様子



沈殿池視察の様子

【主な質疑】

問：砂やゴミを取り除いたり、消毒薬を注入する過程より後の沈殿池やろ過池が露天であるが、雨水等が入っても問題ないのか。

答：急速ろ過池で、砂でこしてきれいにするので問題はない。

※このほか、適宜各委員から質問を行った。

◎県道南新井前橋線バイパス 2 期工区

(北群馬郡吉岡町)

車内から視察を実施した。

(1) 概要説明

ア 説明会場

路線を通行し、バス車内からの視察

イ 説明者及び出席者

道路整備課長

(県側出席者)

県土整備部長、道路整備課長

ウ 説明内容

事業目的、整備状況等について

【主な質疑】

問：駒寄スマート IC からのアクセスも良く、物流の効率化など有効な道路だと思うが、4 車線化の計画はあるのか。

答：4 車線化の計画はない。中央をゼブラゾーンとし、右折レーンを作ることで渋滞緩和の対策をしている。

※このほか、適宜各委員から質問を行った。

【所感・意見・感想など】

○川野辺委員

10月18日の産経土木分科会は、公園利用者の利便性向上に資する収益施設の設置管理と当該施設から生じる収益を活用して園路等の整備・改修等を一体的に行う民間事業者を公募で選定する Park-PFI (公募設置管理制度) により、令和 2 年 3 月にスターバックスコーヒー敷島公園店が正田 醤油スタジアム群馬南側の第一駐車場にオープンしたので視察した。いつも多くのお客さまに来ていただいていると説明を受けたが、この日も大変混み合っていた。今後、第 2、第 3 の Park-PFI に期待したいと思う。

また、この日は、上信自動車道、伊香保温泉、県中央第一水道事務所も視察し、現在の取組状況を説明していただいた。今回の視察を、今後の議会活動に

役立てたいと思う。

○八木田委員

決算特別委員会産経土木分科会の初日は、所管事項の県内調査で産業経済部関係 2 カ所、県土整備部関係 3 カ所、企業局関係 1 カ所を 1 日かけて調査した。このうち私は、コロナ感染症により大きな影響を受けている伊香保温泉の宿泊事業者への調査を報告したい。

今回調査で訪れたのは、「古久家」、伊香保温泉観光協会会長が代表を務める「お宿玉樹」の 2 カ所。間の移動は徒歩で石段街を通り、街の様子も見られた。

本県の観光・宿泊支援事業「^{あいきょう}愛郷ぐんまプロジェクト」は双方とも評価が高く、10月15日から始まった「愛郷ぐんまプロジェクト第 3 弾」は、早くも宿泊客が戻りつつあるとのことであった。伊香保温泉観光協会会長から、コロナ感染症対策の状況、伊香保温泉の現状と課題、今後の展望などの説明を受けて質疑も行った。

印象的だったのは、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、かつては東京の奥座敷として団体での宴会等の利用が多かった伊香保温泉への来客層が変化していることだった。個人客を中心と捉え、ワーケーション需要にも応える、多様な楽しみ方ができるまちづくりなどは、アフターコロナ、ウィズコロナにも対応するものと考える。

質疑では、上信道やハッ場ダム、榛名湖との連携性や隣県との周遊による広域観光、まちづくりに関する行政への要望、伊香保スケートリンクの活用などの意見交換もあり、決算状況だけではなく、今後の議会からの提案を考えるための有意義な調査と感じた。

○入内島委員

上信自動車道という話題が吾妻で語られるようになったのは今から約 30 年前である。7 つの交通軸という位置付けのなかで、整備は進み多くの人々にそ

の姿が見えてきた。完成までにはまだ多くの歳月を要するが、大きなプロジェクトは時間がかかるものである。

現在は、先行する八ッ場バイパス（平成23年完成）に続き一部区間（金井から箱島まで）7.2kmが令和2年6月に開通され高速移動の利便性を痛感している。

一方、観光道路としての役割を見た時、吾妻の一大観光地草津の玄関口大津まではあと数年である。アクセスの重要性は論を待たないが、通過交通の消費は地域にとっては重要であり、利便性（高速性）と消費は相関関係にはない。過去の例では高速交通網の陰で国道沿いのドライブインや既存店の廃業が見られた。この辺の課題にどう取り組むかの議論が待たれる。

また、上信自動車道沿線の宅地造成も一考に値するであろう。週末の家庭菜園を楽しめるライフスタイルの提案など、通勤圏内として魅力ある田園計画も並行して議論することで、上信自動車道の乗数効果が高まると考えられる。

道路整備はそれ自体で価値があるため、整備その

ものを目的化してしまうが、さらなる価値を生むためには完成後の相乗効果をいかに高めるかの構想を地元自治体や地域を巻き込んで議論する仕組みが必要である。

○金沢委員

平成29年の都市公園法の改正により、公園利用者の利便性向上に資する施設の設置とともに、施設から生ずる収益を活用して公園施設を整備する民間事業者を公募・選定する「Park-PFI制度」が新たに設けられた。このPark-PFI制度により、県立敷島公園第一駐車場の一画に昨年3月オープンした「スターバックスコーヒー敷島公園店」の調査を行った。

Park-PFIの導入メリットとして、県の財政負担を軽減しつつ、公園の質の向上や利用者の利便性向上が期待されている。実際の令和2年度の事業成果については、約206万4千円の使用料収入実績とともに、特定公園施設としてベンチ2基が設置された。公園利用者からはおおむね好意的な声が寄せられているとのことだが、今後も引き続き導入効果の検証を行っていきたい。

文教警察分科会



鑑識科学センター

- 1 期 日 令和3年10月18日(月)
- 2 調査場所 ◎県立藤岡特別支援学校（藤岡市）
◎鑑識科学センター（前橋市）
- 3 出席委員 伊藤（清）主査、神田副主査、
中沢、橋爪、中島、あべ、金井、
加賀谷の各委員

4 調査の概要

◎県立藤岡特別支援学校（藤岡市）

県立藤岡特別支援学校は、特別支援学校未設置地域の解消のため、平成26年度に県立みやま養護学校藤岡分校として開校した。平成27年度から単独校化され、現在、単一障害、知的・肢体重複障害に対応した小・中学部と高等部からなる学校である。

平成30年度に高等部が設置され、仮設校舎で生徒を受け入れていたが、新しい校舎が整備され、令和2年8月に供用が開始された。また、現在は、体育館等の整備を進めているところである。

については、令和2年度一般会計決算に係る審査の参考とするため、当該施設の整備事業等に対する現地調査を行った。

(1) 概要説明

ア 説明会場

県立藤岡特別支援学校 会議室

イ 説明者及び出席者

県立藤岡特別支援学校 校長ほか

（県側出席者）

教育長、教育次長（指導担当）、管理課長、特別支援教育課長

ウ 説明内容

別添資料に基づき、令和2年度決算状況及び施設の整備概要等について説明が行われた。



概要説明の様子

(2) 視察の状況



重複障害がある生徒の教室を視察



農作業の様子を視察

【主な質疑】

問：児童生徒数が増加しているが、増加の背景は何か。

答：障害のある就学前の幼児の相談を受ける等、地道な活動で藤岡特別支援学校を知ってもらえる機会が増えたこと、また、高等部の生徒募集のために中学校を訪問し、特別支援学級の担任に藤岡特別支援学校の状況を理解してもらうことができたこと等が考えられる。

問：体育館を建築中だが、体育館が必要な活動に対してどのような対応をしているのか。

答：市の体育館を借りているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、今年度は借りられない状況が続いた。玄関前のポーチから玄関ホールで朝の体操を行うなど、工夫して対応している。

問：「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」制定後の建築となるが、藤岡特別支

援学校で配慮した点は何か。

答：高等部校舎は既に設計が終わっていたため、木造ではなく鉄骨造とした。体育館は規模的にも木造が可能だったため、在来の木造工法を採用し、県産材を可能な限り使用して県内業者が施工した。

※このほか、適宜各委員から質問を行った。

【所感・意見・感想など】

○神田副主査

決算特別委員会文教警察分科会で藤岡特別支援学校高等部を訪問した。平成26年に開校し、昨年高等部校舎が完成し、現在は体育館の整備が行われていた。今回は高等部校舎に実際に入り、授業風景を見学させていただいたが、県産材の木材を使用したぬくもりのある立派な校舎の中で子どもたちが元気に過ごしている姿が印象的だった。

また、就労支援、職業教育という観点から隣接地で農業の実習をしている。近所の農家の方に指導してもらいながら、生き生きと実習に参加する生徒の姿を見ることができた。

藤岡特別支援学校では、これからもこの農作業実習に力を入れていくので、既に土地買収を終えている隣接農地についても農作業実習ができるように、群馬県の早急な支援をいただければと要望があった。

○あべ委員

10月18日(月)、決算特別委員会文教警察分科会で藤岡特別支援学校を訪問した。

藤岡特別支援学校は昨年度高等部の校舎が完成し、現在体育館の整備が行われている。完成したばかりの真新しい校舎で学ぶ生徒たちの姿は生き生きとして楽しそうで、先生方も熱意を持って指導に取り組んでくださっている様子を観ることができた。

生徒数は年々増加しているが、まだ定員には余裕があるとのことで、今後さらに希望者が増えても生徒の受け入れに対応できるということは大切な点だと感じている。

また、職業教育の中でも、農業に特に力を入れていくとのことで、実際に農作業実習に取り組む生徒たちの姿を見ると、土や自然に触れる作業が子どもたちの心身の健康にプラスになっているように感じられた。

特別支援学校としての機能だけでなく、地域の特別支援教育の底上げのため中心的な役割を果たしたいという校長先生の意気込みも頼もしく、藤岡特別支援学校の今後に大いに期待したいと思う。

◎鑑識科学センター（前橋市）

鑑識科学センターは、平成2年4月から鑑識課及び科学捜査研究所が業務を開始し、犯罪現場から採取される資料の鑑定、検査及び実験等を行って、犯人を割り出したり、犯罪を科学的に証明するなど、科学の側面から捜査の支援を行っている。

また、当該センター内に直轄警察犬の訓練所が併設されており、犯罪捜査活動等に活用されている。

今日、警察事象が複雑・多様化し、目撃者や手掛かりが少ない事件が発生するなど捜査が難航するケースがある中で、犯人の早期検挙につながる、より高度な鑑定の研究・開発が求められている。

については、令和2年度一般会計決算に係る審査の参考とするため、当該施設の活用状況等に対する現地調査を行った。

(1) 概要説明

ア 説明会場

鑑識科学センター 会議室

イ 説明者及び出席者

鑑識科学センター長、科学捜査研究所長

ウ 説明内容

令和2年度決算状況及び施設の活用概要等について説明が行われた。

(2) 視察の状況



指紋照合について説明を受ける



DNA 鑑定について説明を受ける

【主な質疑】

問：科学捜査研究所における肉眼では確認困難な繊維の異同識別検査は、結果が出るまでにどのくらいの期間が必要になるのか。

答：まず、検査の対象となる繊維を探し出すまでに時間を要するが、検査対象が確定できれば、1週間程度の期間で結果を出すことができる。

問：指紋により個人を100%特定できるのか。

答：指紋は「万人不同」、「終生不変」という特徴があるため、個人識別に最も有効であり、さらに職員の経験と蓄積されたデータにより特定することができる。

問：指紋の検出・採取方法には、粉末法、液体法、気体法、光学法があるとのことだが、どのように使い分けるのか。

答：汚れないよう配慮が必要な屋内等は粉末法で対応する。液体法は屋外で雨の場合でも対応できる。光学法は暗闇でないと対応できないが、検

体に触れずに採取できるという利点がある。
※このほか、適宜各委員から質問を行った。

【所感・意見・感想など】

○加賀谷委員

鑑識科学センターは鑑識課と科学捜査研究所の2所属で業務を担っている。鑑識課では、指紋の登録や照合、現場に残された足跡等の分析や照合、手配写真の作成、警察犬の訓練等、事件事故が起こった際の原因究明や犯罪捜査に関わる重要な役割を果たしている。令和2年度当初予算では鑑識科学センターでは約1億3千万円の予算がつき、その予算の

約半分は指掌紋情報管理システムの費用となっている。鑑識科学センターには警察犬は3頭おり、ほかに民間に嘱託している18頭の警察犬がいるそうだが、これに対する委託料はなく、出勤時に報酬が支払われるのみになっている。

科学捜査研究所では、法医係、化学係、心理係、文書鑑定係等から成り立っており、最先端の科学技術を使い事件事故の捜査に大きな役割を果たしている。

今後も、鑑識科学センターの業務が、事件事故の原因究明や犯人捜査、行方不明者の発見などに大きな役割を果たすことが期待される。

環境農林分科会



川場村役場

- 1 期 日 令和3年10月19日(火)
- 2 調査場所 ◎農業技術センター中山間地園芸研究センター（沼田市）
◎川場村役場（利根郡川場村）
- 3 出席委員 今泉主査、牛木副主査、星野、狩野、小川、井田（泰）、矢野、相沢の各委員

- 4 調査の概要
- ◎農業技術センター中山間地園芸研究センター（沼田市）
農業技術センター中山間地園芸研究センターは、昭和35年に農業試験場沼田果樹試験地として発足して以来、利根沼田地域を中心とする本県の中山間地域の園芸産地の発展のため、経営に役立つ品種育成

や栽培技術の開発に取り組んできた。

主な試験研究課題は、リンゴやブルーベリーなどの新品種育成や安定生産技術確立であり、リンゴでは「ぐんま名月」、「紅鶴」、「陽光」、ブルーベリーでは「はやばや星」、「あまつぶ星」、「おおつぶ星」などの代表的育成品種がある。また、夏秋トマトなどの中山間地域野菜について、温暖化対策技術の確立等の試験研究にも取り組んでいる。

については、決算審査の参考とするため、農業技術センター中山間地域園芸研究センターの取組について調査を行った。

(1) 概要説明

ア 説明会場

中山間地域園芸研究センター

イ 説明者及び出席者

中山間地域園芸研究センター長
(県側出席者)

環境森林部長、農政課長、農業技術センター
所長

ウ 説明内容

別添の資料に基づいて説明が行われた。

- ・「中山間地域園芸研究センター」
- ・「ぐんまのりんご」、「りんご新品種「紅鶴」について」等



概要説明の様子

(2) 視察の状況



施設内見学の様子



ぐんま名月の原木の前にて

【主な質疑】

問：リンゴの新品種「紅鶴」の栽培面積はどのようか。

答：現在の栽培面積は5.6haである。新たな品種に変更するのは、農家にとってはハードルが高く、確実に売れる品種であることを見極めないと更新できない。

問：苗木を植えてから収穫するまでどれくらいかかるのか。

答：7～8年かかる。

問：リンゴの栽培面積が400haとのことだが、増えているのか。

答：全体的には減少傾向にある。かつては500haを維持していたが、ここ20年間で減少している。生産者の高齢化や後継者不足による。

問：ぐんま名月は人気があるが、長野県産や青森県産が多いように感じる。増やすことはできないのか。

答：利根沼田地域は比較的、生産者に若い後継者で意欲的な方がいる。国庫事業による改植も進んでいる。ある沼田市の生産者は輸出の取組を始めている。「ぐんま名月」も30年が経ち、ようやく全国的に認知されるようになった。今後、生産が増えていけばと考えている。

※このほか、適宜各委員から質問を行った。

【所感・意見・感想など】

○矢野委員

昭和35年に群馬県農業試験場沼田果樹試験地として発足して以来、利根沼田地域を中心とした園芸産地の発展のため、品種の育成や栽培の技術開発に取り組んでいる。

果樹の主な試験研究としては、リンゴやブルーベリーなどの新品種育成や安定生産技術の確立について取り組んでいる。リンゴでは複数の品種を組み合わせることで、8月下旬から12月までおいしいリンゴを消費者に提供している。

野菜の主な試験研究としては、ミョウガや夏秋トマトなど高い優良系統の選抜、育成に取り組んでいる。利根沼田地域は夏秋トマトの大産地であるが、近年は、障害果の発生が問題となり、その発生を軽減する栽培体系の開発に取り組んでいる。

温暖化対策などの技術の確立等にも研究を重ねて、県民の皆さんにおいしい食材を提供できるよう、これからも研究開発を行っていただきたいと考える。

◎川場村役場（利根郡川場村）

川場村における令和2年度の野生動物による農業被害額は1,417千円となっており、近年は増加傾向である。特にシカによるリンゴ被害が増加している。このため、村では「守る対策」として、鳥獣被害防止総合対策交付金（国庫）を活用して、令和元年度から広域的な侵入防止柵を整備している。また、「捕る対策」として、新規狩猟免許取得者への経費支援など担い手育成に積極的に取り組んでお

り、令和2年度のシカ捕獲頭数は315頭と前年度の約3倍となっている。

現在、本県の野生鳥獣肉は、国から放射性物質含有による出荷制限が指示されているが、将来的な獣肉利活用の参考とするため、道の駅「川場田園プラザ」の店内に全国のジビエ商品を集めた「ハンターズマーケット」を試験的に開設している。また、令和2年には川場村産のリンゴと北海道産のエゾシカ肉を使用したレトルトカレー「月と鹿」を販売している。

令和3年度は、捕獲情報のデータ自動処理や獣肉利活用に向けて、ICTを活用したジビエアプリの現地実証を村独自に取り組む予定である。

については、決算審査の参考とするため、川場村の取組について調査を行った。

※捕獲頭数：有害捕獲と狩猟捕獲の合算頭数（自然環境課調べ）

(1) 概要説明

ア 説明会場

川場村役場

イ 説明者及び出席者

川場村むらづくり振興課担当者、RFJ株式会社代表取締役社長
(県側出席者)

環境森林部長、自然環境課長、農政課長、技術支援課長

ウ 説明内容

別添の資料に基づいて説明が行われた。

- ・「川場村 鳥獣被害防止総合対策交付金」
- ・「ICTを活用したスマート捕獲・スマートジビエ」等



概要説明の様子

(2) 視察の状況



ジビエアプリの説明を受ける

【主な質疑】

問：群馬県が中心となって、35市町村と一緒に鳥獣被害対策を進めるべきと考えるが、他県のアプリの導入状況はどうか。

答：長崎県では20市町で導入予定。そのほか、岡山県岡山市、奈良県天理市、山梨県早川町などで

も導入予定である。

(要望)：本県の鳥獣被害についても、アプリをいち早く導入してDXを進めるべきである。

問：捕獲奨励金の不正防止策についてはどうか。

答：アプリを使用すれば、捕獲した場所（緯度・経度）、時間も計測できる。同じ場所で2匹獲ることは考えられないので、完全とはいえないが不正防止につながると考えている。

※このほか、適宜各委員から質問を行った。

【所感・意見・感想など】

○井田（泰）委員

川場村ではリンゴ、ブルーベリー等中山間地域での果物作りが盛んであり、被害額を考えると有害鳥獣対策が喫緊の課題である。今までもサルの大型捕獲檻設置による群れの一網打尽捕獲など先進的な取組を行ってきており、被害への危機感が非常に高いと考える。

全国的に減少傾向にある猟友会員数においても村独自の免許取得者への助成金を出すことにより会員増の成果を挙げている。

新たな取組のスマートジビエアプリについては、迅速な情報収集が可能であり、事務処理の効率化もなされる。似たようなアプリもあるのかもしれないが、群馬県全域に実証実験を拡大する価値のある取組だと考える。今後のさらなる活用を推進したい。



県立ぐんま学園

- 1 期 日 令和3年10月19日(火)
- 2 調査場所 ◎県立ぐんま学園（前橋市）
- 3 出席委員 泉沢主査、秋山副主査、星名、酒井、金子、薬丸、本郷、森の各委員

4 調査の概要

◎県立ぐんま学園（前橋市）

県立ぐんま学園は、明治41年10月に天川原町松竹院境内に明峯学院^{あけみね}として創立し、昭和26年11月に現在地に移転した。平成10年4月には、児童福祉法改正により、教護院から児童自立支援施設となり、平成17年4月に現在の「ぐんま学園」に名称変更し、現在に至っている。

当該施設は、不良行為を行う児童や家庭環境等の理由により生活指導が必要な児童等を入所させ、個々の児童の状況に応じた生活面・学習面など多面にわたる指導により自立を支援しているほか、退所した児童に対し相談・支援を行っている。

なお、「ぐんま学園」への名称変更併せ、学園内に前橋市立荒牧小学校・南橋中学校みやま分校を

開設している。

については、令和2年度の決算審査の参考とするため、ぐんま学園の調査を行った。

(1) 概要説明

ア 説明会場

県立ぐんま学園 食堂ホール

イ 説明者及び出席者

ぐんま学園長

（県側出席者）

生活こども部長、生活こども課長、児童福祉・青少年課長

ウ 説明内容

説明資料により、施設の概要説明が行われた。



概要説明の様子

(2) 視察の状況



榛名寮の建物へ向かう様子

【主な質疑】

問：性非行が増加しているとのことだが、男女割合はどうか。

答：例として、児童養護施設内で起こると一般的には男子が加害側、女子が被害側に見られることもあり、学園入所となるのは圧倒的に男子が多い。

問：家裁の審判や施設の措置変更以外の入園の経緯はどうか。

答：一旦、児童相談所で保護され、一時保護後の判定により適切な施設に入所することになる。

問：発達障害の対応はどうか。

答：治療は医療機関と連携して対応する。生活支援において、声のかけ方やアプローチ方法を職員間で話し合い連携して対応している。

問：自立後の状況はどうか。

答：平成10年の法改正でアフターケアが義務化され

た。子どもの希望もあるため、全員に対しフォローできていないが、必要により連絡をするなど一定の役割は果たしている。

問：家庭内の負の連鎖の食い止めが重要だが、家庭復帰する際の保護者へのアプローチはどうか。

答：以前は、子どもは施設で、保護者は児相で対応するという役割だったが、今は施設でも保護者への対応も行っている。家庭、児相、学校等で情報共有し、家庭復帰の支援を行っている。

問：学園では措置延長制度についてどうなっているか。

答：必要性はあるが、外泊や携帯電話などの制限があり、子どもにとって窮屈な状態なので難しい状況である。

問：学園から里親に委託するケースはあるか。

答：学園から委託するケースはない。逆に里親の所で問題を起こし学園に入所することはある。

問：一つの寮に7人の職員体制で問題ないか。

答：宿直、日勤など厳しい状況であるが、職員の健康に配慮し対応している。

問：昼間に職員1人体制となるのはどのくらいか。

答：週1回以上は発生するが、昼間の子どもたちは学校の授業を受けている。

問：職員の宿直の頻度はどうか。

答：1寮7人体制でのローテーションのため、週に1度は宿直がある。

問：説明の中で施設の不具合が出ているとあったがハード面ということか。

答：以前は、入浴は部屋単位で行ってきたが、時代の変化等により1人で入浴させるようになったため浴室の改修が必要になった。同様に居室についても個室にしたほうがよいなど議論を始めたところである。

問：学園に入所してから事件が発生したような事例はどうか。

答：昨年は多々発生していたが、今年は今のところ発生していない。

※このほか、適宜各委員から質問を行った。

【所感・意見・感想など】

○金子委員

ぐんま学園は明治41年に天川原町に^{あけみね}明峰学院として創立され、明治43年に公立感化院県立群馬学園となり、昭和26年に現在地に移転され、平成17年にぐんま学園の名称になった。創立100年を超える児童自立支援施設である。

現在は、小学生4人、中学生14人、高校生5人、就労予定者1人の24人が集団生活を送っている。小中学生は学園内のみやま分校で勉強している。

今回は子ども達の生活の様子や寮の見学を主に調査した。虐待などで入園してくる子も多く、発達障害をもつ子もいるため、寮生活も大変なようであった。食堂の壁に貼られた入浴やテレビ等のさまざまなルールの張り紙を見ても先生方の御苦勞を知ることができた。

複雑な家庭状況や被虐待経験、発達障害等により、入所する子ども達が抱える問題は複雑かつ困難なものになっていると校長先生の話があった。児童福祉の最後の砦として議会としても支援していく必要性を再認識した。

○森委員

決算特別委員会健康福祉分科会の県内調査として、県立ぐんま学園を訪問し、調査した。

冒頭、菊地園長から「ぐんま学園の概要」について説明をいただき、その後施設の状況、児童生徒の入所及び退所後の相談や自立、並びに職員の方々が感じている諸課題など幅広く意見交換をした。

限られた職員により各児童の状況に応じた学習面・生活面などきめ細かに指導に当たるなど職員の御努力と、施設として担う社会的養護の重要性和社会的自立に向けた取組の必要性を改めて認識した。

そして、職員の皆さまが働きやすい環境整備のためにも、行政との調整に努め調査結果を活用してまいりたい。

最後に、児童生徒が抱える問題が複雑化かつ多様化する中、社会的自立に向けて献身的に努めておられる「ぐんま学園」の職員各位には、心から敬意と感謝を申し上げる。

本会議場の改修工事

令和3年第2回定例会終了後に、老朽化していた本会議場の音響システムや映像配信設備などの改修工事を実施しました。音響設備の更新により音声が聞きやすくなったほか、インターネット配信でも、よりクリアな映像をお届けすることが可能となりました。一般質問の残り時間などを表示する本会議場内のパネルも見やすいものとなりました。

なお、本会議場の改修工事に伴い、第4回臨時会、第5回臨時会は、議会棟2階の臨時本会議場（201委員会室）で開催されました。



改修工事後の本会議場



臨時本会議場の様子

ぐんまシチズンシップ・アカデミー

若者の政治への関心を高める取組として、令和3年9月27日に「ぐんまシチズンシップ・アカデミー」を開催し、県立女子大学と県民健康科学大学の2大学から、計10人の学生が参加しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議員の一般質問をテレビやインターネットで傍聴した後、オンラインでの開催となりました。大学生と議員との意見交換が行われ、傍聴した内容や若者の政治への関心を高めるための方法などについて、活発な意見が交わされました。参加した大学生の皆さんからは、意見交換をしたことで、議会や議員を身近に感じることができたとの感想が寄せられました。



オンラインでの意見交換の様子



意見交換中の Zoom 画面の様子

産経土木・総務企画・健康福祉常任委員会連合審査会

令和3年10月6日、第3回前期定例会に提出された一般会計補正予算案のうち、ぐんまワクチン手帳の概要や手帳を利用した事業の実施について、より丁寧な審査をするため、産経土木・総務企画・健康福祉の3委員会による連合審査会が開催されました。

審査の結果を踏まえ、補正予算案に係る附帯決議が産経土木常任委員会から提出され、10月12日の本会議で可決されました。



連合審査会の審査の様子

群馬県議会議員名簿

令和3年11月15日現在

氏名	期	党(会)派	住所	生年月日	電話番号	郵便番号
中 沢 丈 一	8	自由民主党	前橋市上佐島町685	昭23.10.20	027-265-1232	371-0816
久保田 順一郎	6	自由民主党	邑楽郡大泉町中央3-11-24	昭27.8.22	0276-63-8386	370-0516
星 野 寛	6	自由民主党	利根郡片品村土出759-1	昭30.6.23	0278-22-1380	378-0412
岩 井 均	6	自由民主党	安中市松井田町高梨子864-1	昭39.1.25	027-393-5447	379-0215
狩 野 浩 志	5	自由民主党	前橋市三俣町2-20-7	昭35.8.23	027-232-9635	371-0018
橋 爪 洋 介	5	自由民主党	高崎市片岡町1-16-8	昭42.4.28	027-326-8866	370-0862
星 名 建 市	4	自由民主党	渋川市金井424-1	昭31.11.12	0279-24-0067	377-0027
伊 藤 祐 司	4	日本共産党	高崎市北新波町136-4	昭33.3.5	027-343-8067	370-0082
井 田 泉	4	自由民主党	佐波郡玉村町上新田1480	昭38.3.15	0270-65-8577	370-1133
水 野 俊 雄	4	公明党	前橋市大友町3-12-33	昭47.3.2	027-226-4178	371-0847
後 藤 克 己	4	リベラル群馬	高崎市八幡町800-24	昭48.6.21	027-343-1393	370-0884
中 島 篤	4	自由民主党	高崎市浜川町2266	昭29.10.29	027-395-0818	370-0081
萩 原 涉	4	自由民主党	吾妻郡草津町草津464-887	昭28.10.20	0279-88-5977	377-1711
あ べ ともよ	4	令明	太田市東今泉町341-1	昭46.10.23	0276-22-1181	373-0021
岸 善一郎	3	自由民主党	高崎市中里町16-1	昭25.3.14	027-372-0488	370-3532
井 下 泰 伸	3	自由民主党	伊勢崎市本町16-11	昭38.10.23	0270-50-0177	372-0047
酒 井 宏 明	3	日本共産党	前橋市上新田町676-1 ルミエール105	昭40.10.3	027-254-0476	371-0821
金 井 康 夫	3	自由民主党	沼田市東倉内町771	昭44.2.16	0278-22-2771	378-0043
金 子 渡	3	令明	渋川市石原1498-26	昭45.10.12	0279-25-3050	377-0007
安孫子 哲	3	自由民主党	前橋市城東町2-3-14	昭46.4.24	027-237-0815	371-0016
薬 丸 潔	3	公明党	太田市浜町21-32	昭53.7.16	0276-47-0470	373-0853
小 川 晶	3	リベラル群馬	前橋市古市町1-43-7	昭57.12.21	027-255-7700	371-0844
伊 藤 清	2	自由民主党	安中市原市4-4-28 アヴェニュー南1F西号室	昭29.1.6	027-388-0607	379-0133
大 和 勲	2	自由民主党	伊勢崎市山王町1163-2	昭39.10.12	0270-22-4599	372-0831
川野辺 達也	2	自由民主党	邑楽郡板倉町岩田1626-1	昭40.9.3	0276-82-4670	374-0133
本 郷 高 明	2	リベラル群馬	前橋市東善町347-3	昭46.6.28	027-266-1919	379-2132
穂 積 昌 信	2	自由民主党	太田市龍舞町2235-2	昭49.9.18	0276-60-2220	373-0806
井 田 泰 彦	2	令明	桐生市新里町新川1181-4	昭53.2.9	0277-74-1428	376-0121
加賀谷 富士子	2	リベラル群馬	伊勢崎市太田町564-1	昭53.4.20	0270-22-2451	372-0006
泉 沢 信 哉	2	自由民主党	館林市若宮町2451-3	昭33.12.20	0276-72-5071	374-0007
今 泉 健 司	2	自由民主党	みどり市笠懸町阿左美2887-82	昭52.7.8	0277-76-9499	379-2311
松 本 基 志	1	自由民主党	高崎市八千代町1-17-8	昭34.7.24	027-325-1727	370-0861
斉 藤 優	1	自由民主党	伊勢崎市境291	昭34.11.14	0270-74-0336	370-0124
大 林 裕 子	1	自由民主党	北群馬郡吉岡町小倉甲91	昭35.2.18	0279-54-3745	370-3607
森 昌 彦	1	自由民主党	邑楽郡大泉町坂田4-22-1	昭36.4.26	0276-63-2332	370-0532
八木田 恭之	1	リベラル群馬	太田市東金井町917 大堂ビル1階D号室	昭37.1.1	0276-55-5661	373-0022
入内島 道隆	1	如水会	吾妻郡中之条町四万3838	昭38.2.6	0279-64-2001	377-0601
矢 野 英 司	1	新時代	富岡市富岡736-4	昭42.10.28	0274-64-9081	370-2316
高 井 俊 一 郎	1	自由民主党	高崎市山名町1504-1	昭50.11.5	027-346-1736	370-1213
相 沢 崇 文	1	自由民主党	桐生市東7-1-8 ルンダーベルクB203	昭51.2.25	0277-43-9977	376-0034
神 田 和 生	1	自由民主党	藤岡市上戸塚108-37	昭51.10.13	0274-23-5757	375-0013
金 沢 充 隆	1	令明	藤岡市西平井228-2	昭52.7.10	0274-37-1258	375-0044
亀 山 貴 史	1	自由民主党	桐生市菱町4-2251	昭52.7.19	0277-44-3230	376-0001
秋 山 健 太 郎	1	自由民主党	太田市西本町6-6	昭52.10.11	0276-22-3195	373-0033
牛 木 義	1	自由民主党	甘楽郡甘楽町上野157-1	昭61.8.5	0274-75-4142	370-2201
追 川 徳 信	1	友信会	高崎市八幡町1315-17	昭34.5.29	0273-43-5063	370-0884
鈴 木 敦 子	1	リベラル群馬	高崎市倉賀野町(事務所:高崎市吉井町吉井547-3)	昭56.2.15	0273-87-1432	370-2132

注1 定数50人(現員47人)の各党(会)派別内訳集計(在職年数・年齢順)

2 自由民主党30人、リベラル群馬6人、令明4人、公明党2人、日本共産党2人、新時代1人、如水会1人、友信会1人

群馬県議会時報 第72巻 令和3年第4回臨時会・第5回臨時会・第3回前期定例会

令和3年12月14日発行
発行 群馬県議会事務局
前橋市大手町1丁目1-1
TEL 027 (223) 1111
編集 群馬県議会事務局政策広報課
印刷 朝日印刷工業株式会社